

令和五年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際政策グループ

目 次

I 国際化の現況

1. 海外渡航者の状況

- (1) 日本人出国者数の推移 1
- (2) 外国人入国者数の推移 1
- (3) 年次別旅券発行件数 1
- (4) 佐賀県の年代別発給件数 2

2. 在留外国人数の状況

- (1) 年次別在留外国人数の推移 3
- (2) 在留外国人数（国籍・地域別） 4
- (3) 在留外国人数（在留資格別） 5

3. 外国人留学生の受入状況

- (1) 外国人留学生数の推移 6
- (2) 県内外国人留学生の受入状況（学校別） 6

II 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

- (1) 県の事業 7
- (2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業 16
- (3) 市町の事業 17

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

- (ア) 全国自治体別友好姉妹提携数 26
- (イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧 26

イ 佐賀県の状況

- (ア) 相手国別友好姉妹提携一覧 27
- (イ) 県の状況 28
- (ウ) 市町の状況 29
- (エ) その他友好団体 32

ウ	教育機関等の姉妹友好等提携交流	
(ア)	大学・短期大学	33
(イ)	高等学校	37
(ウ)	中学校	40
(エ)	小学校	42
(オ)	その他の交流状況	43
(2)	世界の諸地域との交流	
ア	市町別移住者数一覧	44
イ	在外県人会	45
3.	国際化推進のための環境づくり	
(1)	語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)	
ア	年度別招致状況	46
イ	外国青年招致事業による招致青年の配置状況	47
(2)	外国語教育	
ア	県立高校における留学生受入校及び受入人数	48
イ	県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	48
ウ	県立高校における英語以外の外国語の取組状況	49
エ	県立高校における海外修学旅行の実施状況	49
オ	海外との交流状況	
(ア)	高等学校	50
(イ)	中学校	55
(ウ)	小学校	58
(3)	多文化共生の地域づくり	
ア	県内の地域日本語教室の数	60
4.	国際協力	
(1)	国際協力の推進	
ア	佐賀県海外技術研修員受入状況	61
イ	独立行政法人国際協力機構(JICA)研修員受入状況	63
ウ	独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況	65
エ	青年海外協力隊等派遣状況	

(ア)	年度別派遣者数	67
(イ)	国別・地域別派遣者数	67
(ウ)	青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況	69
(エ)	シニア海外協力隊派遣状況	69
(オ)	日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況	69
オ	アセアン青年・青年研修等受入状況	70

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1.	市町国際交流担当課（室）	71
2.	県の機関	72
3.	その他関係機関	72

I 国際化の現況

1. 海外渡航者の状況

佐賀県の日本人出国者数は、平成12年の76,297人をピークに減少傾向にあったが、平成28年から令和元年まで4年連続で増加し、令和元年には71,500人とピークに迫った。ところが、令和2年に新型コロナウイルス感染症が世界的に流行してからは減少に転じ、令和2年は9,942人と前年から61,558人(86.1%)減少し、令和3年には758人と大幅に減少した前年からさらに9,184人(92.4%)減少した。しかし、令和4年には渡航制限が徐々に緩和されたことから同年の出国者数は増加に転じ、5,593人と前年から4,835人(637.9%)増加し、さらに令和5年には新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、同年の出国者が32,282人と前年から26,689人(477.2%)増加した。全国でも、令和3年における日本人出国者数は、512,244人と前年に比べ2,661,975人(83.9%)減少していたが、令和4年は増加に転じ2,771,770人と前年から2,259,526人(441.1%)増加し、令和5年の出国者は9,624,158人と前年から6,852,388人(247.2%)増加した。

また、外国人入国者数は全国で令和5年は25,830,810人であり、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていた前年から21,632,765人(515.3%)増加した。

旅券の発行件数については、佐賀県の令和元年の発行件数は21,402冊であったが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の流行のため旅券の取得を希望する人が減り、令和3年は1,328冊と大きく減少した。しかしその後、渡航制限が徐々に緩和されたことから、令和4年には4,016冊と一転して増加に転じ、令和5年は15,820冊と新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年発行数の73.9%まで回復した。

(1) 日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
H5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
H6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
H7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
H8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
H9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
H10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
H11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
H12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
H13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
H14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
H15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
H16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
H17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
H18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
H19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
H20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
H21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
H22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
H23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
H24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
H25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
H26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
H27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
H28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
H29	58,515	105.2	17,889,292	104.5
H30	67,003	114.5	18,954,031	106.0
R元	71,500	106.7	20,080,669	105.9
R2	9,942	13.9	3,174,219	15.8
R3	758	7.6	512,244	16.1
R4	5,593	737.9	2,771,770	541.1
R5	32,282	577.2	9,624,158	347.2

(2) 外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
H5	3,747,157	95.4
H6	3,831,367	102.2
H7	3,732,450	97.4
H8	4,244,529	113.7
H9	4,669,514	110.0
H10	4,556,845	97.6
H11	4,901,317	107.6
H12	5,272,095	107.6
H13	5,286,310	100.3
H14	5,771,975	109.2
H15	5,727,240	99.2
H16	6,756,830	118.0
H17	7,450,103	110.3
H18	8,107,963	108.8
H19	9,152,186	112.9
H20	9,146,108	99.9
H21	7,581,330	82.9
H22	9,443,696	124.6
H23	7,135,407	75.6
H24	9,172,146	128.5
H25	11,255,221	122.7
H26	14,150,185	125.7
H27	19,688,247	139.1
H28	23,218,912	117.9
H29	27,428,782	118.1
H30	30,102,102	109.7
R元	31,187,179	103.6
R2	4,307,257	13.8
R3	353,119	8.2
R4	4,198,045	1,188.9
R5	25,830,810	615.3

調：法務省出入国在留管理庁

(3) 年次別旅券発行件数(単位：冊)

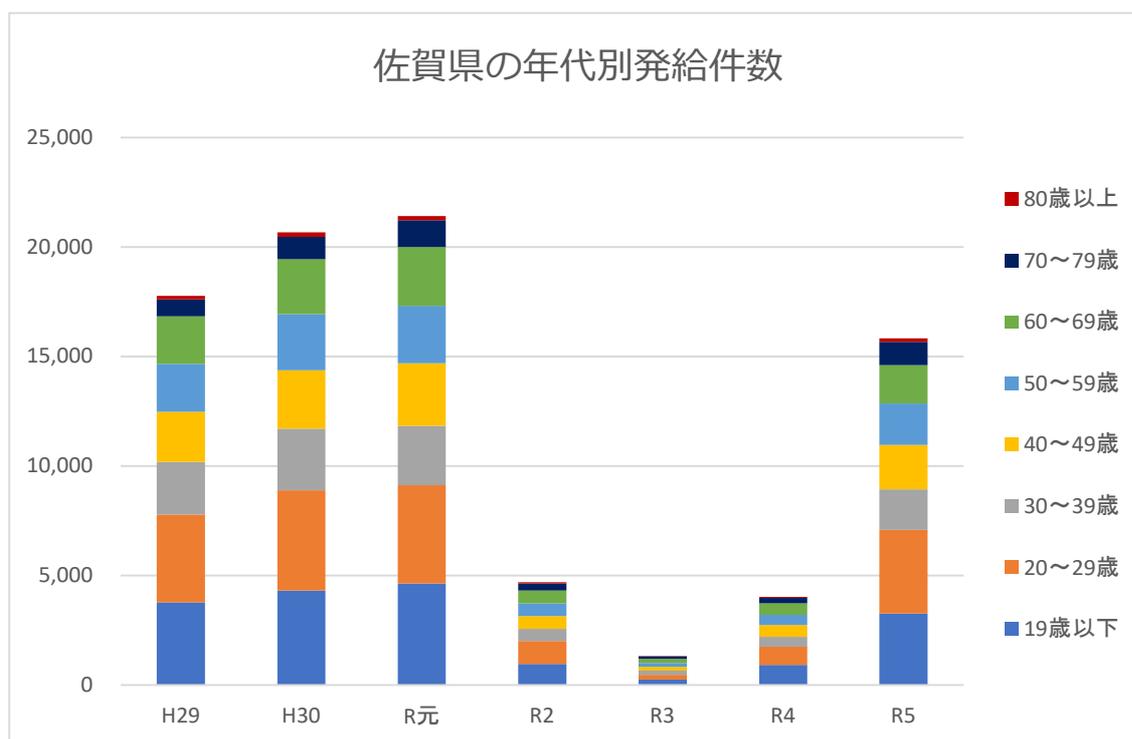
年次	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
佐賀県発行数	14,230	16,580	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820
全国発行数	3,249,593	3,738,380	3,959,468	4,182,207	4,365,290	1,234,928	513,943	1,218,692	3,401,533

調：外務省

(4) 佐賀県の年代別発給件数

年次 区分	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
19歳以下	3,782	4,311	4,645	967	259	923	3,272
20～29歳	4,010	4,593	4,478	1,043	218	834	3,804
30～39歳	2,400	2,804	2,723	558	179	443	1,860
40～49歳	2,282	2,658	2,848	585	171	537	2,031
50～59歳	2,192	2,572	2,622	574	176	479	1,881
60～69歳	2,169	2,509	2,671	578	197	512	1,767
70～79歳	773	1,029	1,234	333	109	253	1,043
80歳以上	158	197	181	58	19	35	162
合 計	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820

調：外務省



2. 在留外国人数の状況

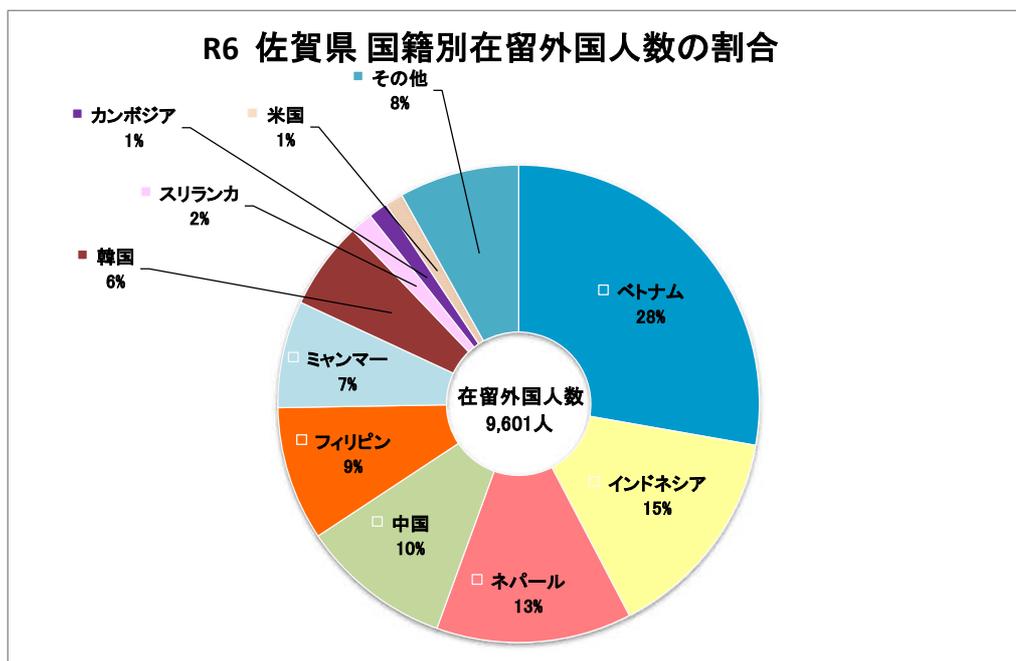
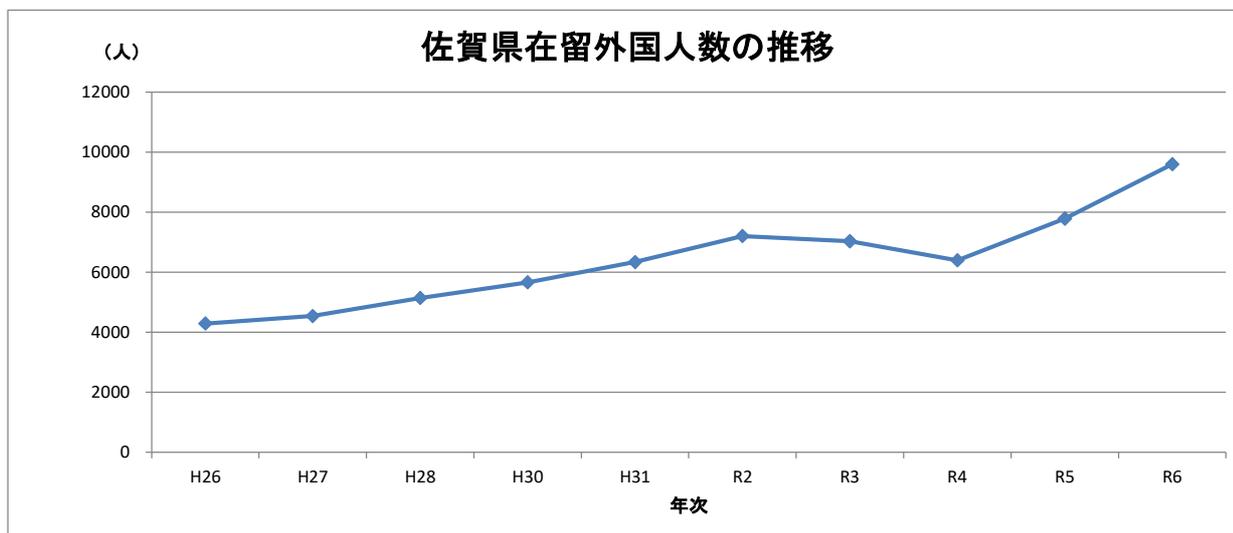
(1) 年次別在留外国人数の推移

年次	H26	H27	H28	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
佐賀県	4,285	4,536	5,140	5,666	6,338	7,204	7,027	6,394	7,785	9,601
全国	2,121,831	2,232,189	2,382,822	2,497,656	2,667,199	2,866,715	2,811,543	2,704,341	2,993,839	3,323,374

※共通：H27、H28は12月末現在、H30～は1月1日現在。

調：県国際課（現多文化共生さが推進課）

※全国：H28までは出入国在留管理庁のデータ。H30以降は総務省の住民基本台帳のデータ。



(3) 在留外国人数（在留資格別）

令和6年1月1日現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計
総 計	2,511	987	1,909	304	858	296	229	301	231	255	248	378	117	311	14	183	24	77	278	92	9,603
教 授	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
芸 術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
宗 教	3	1	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
報 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度専門職	5	3	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
経営・管理	11	2	11	5	4	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	37
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
研 究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教 育	25	12	6	1	2	8	3	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	1	0	69
技術・人文知識・国際業務	157	51	168	14	41	24	7	31	34	17	13	13	2	12	0	13	1	0	3	7	608
企業内転勤	2	2	4	0	4	0	18	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	36
介 護	53	7	16	11	2	3	9	3	11	3	4	4	0	11	1	3	1	2	3	3	150
興 行	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
技 能	22	11	43	0	3	4	2	1	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	91
特定技能	236	147	262	36	190	25	36	38	15	74	25	152	18	21	3	25	1	10	78	15	1,407
技能実習	509	446	258	180	446	117	80	125	73	102	139	116	81	177	2	77	9	55	141	58	3,191
文化活動	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
留 学	532	6	622	2	0	6	3	0	3	8	0	27	0	2	0	3	0	0	2	0	1,216
研 修	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
家族滞在	202	38	147	20	28	27	13	11	21	5	11	10	0	18	2	11	4	0	9	0	577
特定活動	47	12	8	0	14	9	12	6	3	3	2	0	1	2	0	3	0	0	1	1	124
永 住 者	396	137	209	18	45	33	16	49	27	27	27	27	8	45	3	21	3	2	20	5	1,118
日本人の配偶者等	89	50	57	3	21	20	14	11	15	6	10	13	2	11	2	9	1	1	8	2	345
永住者の配偶者等	11	3	10	0	1	0	2	3	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	34
定 住 者	55	13	30	2	3	5	4	5	0	1	3	3	2	7	0	2	0	1	1	0	137
特別永住者	134	44	53	12	41	9	7	16	27	7	6	7	2	1	0	12	2	4	10	1	395
その他（未取得等）	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

*「その他」は、出生による経過滞在で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者等

出典：県国際課（現多文化共生さが推進課）調

3. 外国人留学生の受入状況

令和5年の佐賀県における外国人留学生数は、1,008人と前年に比べ226人の増加となっている。

学校別で見ると、日本語教育機関の増加が目立つ。学校別で見ると、大学・短大では佐賀大学の187人が最多であり、日本語教育機関などではCODO外語観光専門学校アカデミーの181人が最も多い。

国籍別で見ると、ネパールが594人と圧倒的に多く、ミャンマーが132人と続く。大学ではミャンマーが多く、日本語教育機関などではネパールが多数を占めている。

(1) 外国人留学生数の推移

(単位：人) 令和5年5月現在

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
大学	252	268	258	199	142	156	208
短期大学	27	45	104	136	129	161	160
日本語学校	342	382	370	323	27	316	459
専門学校		96	199	291	248	149	181
県内計	621	791	931	949	546	782	1,008
全国計	267,042	298,980	312,214	279,597	242,444	231,146	279,274

調：(県内) 佐賀地域留学生等交流推進協議会

調：(全国) 独立行政法人日本学生支援機構

(2) 県内外国人留学生の受入状況(学校別)

(単位：人) 令和5年5月現在

	ネパール	ベトナム	中国	ミャンマー	スリランカ	バングラデシュ	韓国	インドネシア	マレーシア	タイ	その他	計
佐賀大学	2	10	48	5	11	21	13	22	8	5	42	187
西九州大学	0	2	18	0	0	0	1	0	0	0	0	21
西九州大学短期大学部	2	3	1	51	1	0	0	7	0	0	0	65
九州龍谷短期大学	2	1	1	6	0	0	0	0	0	1	0	11
佐賀女子短期大学	14	0	0	60	0	0	10	0	0	0	0	84
弘堂国際学園	132	8	0	4	2	3	0	0	0	0	0	149
日本文化教育学院	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165
佐賀ランゲージセンター	133	0	0	6	1	1	0	0	0	0	4	145
CODO外語観光専門学校アカデミー	144	32	1	0	0	0	0	0	1	0	3	181
合計	594	56	69	132	15	25	24	29	9	6	49	1,008

調：佐賀地域留学生等交流推進協議会

II 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業（令和5年度）

課名	事業名	内容
国際課 (現国際政策グループ)	グローバルSAGA推進事業	<p>○国際交流推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダプリンセンホフ博物館及び、オランダ財団関係者との今後の連携についての意見交換（R6.1.7～1.10） ・オランダプリンセンホフ博物館特別展における、オープニングセレモニー出席（R6.2.14～2.17） <p>○外務連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイフェス開催に係る在福岡タイ王国総領事及びタイ王国政府関係者招聘（R5.10.20～10.22） ・タイ王国こども大使受入れ ・フィンランドフェア開催に係る駐日フィンランド大使及び関係者招聘（R5.12.1～12.2） ・外国政府機関等の知事表敬対応 <p>駐日ネパール大使、駐日インド大使、在福岡アメリカ総領事館、香港特別行政区政府首席代表等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事等の大使等訪問 【知事】在タイ日本国大使館、在マレーシア日本国大使館 【落合副知事】釜山訪問（教育関係等） ・駐日大使館等主催のレセプション参加対応 <p>国慶節（ベトナム、韓国、台湾、中国） ナショナルデー（タイ） 独立記念日（フィンランド、アメリカ）</p>
	「佐賀の本物」海外PR事業	<p>○上海プロモーション</p> <p>佐賀-上海便の運航再開に伴い、同路線の利用を促進し、現地の関係機関やキーパーソンとの関係を構築・強化し、流通や観光をはじめとする国際関連施策に関して総合的にPRするレセプションを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県 ・期間：R5.12.21 ・内容：PRレセプション（上海マリオット・マーキス・シティセンター） <p>○タイプロモーション</p> <p>今後の更なる交流の進展、インバウンド誘致及び県産品の輸出拡大を図るため、映画ドラマや流通、観光、文化に関する関係者、政府関係者等を招待し、佐賀の魅力を総合的にPRするレセプションを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県 ・期間：R6.2.2 ・内容：PRレセプション（ホテルニッコーバンコク）
	重点連携国情報発信事業	<p>タイ王国及びフィンランドとの今後の交流や更なる取組の創出につなげるため、両国との連携及び関係する様々なコンテンツの対比・組み合わせ・融合等のコラボレーションを県民に知ってもらい機会を創出するイベントを開催</p> <p>○タイフェスティバルin SAGA シリーズ7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R5.10.21～10.22 ・来場者数：約17,600名 <p>○フィンランドフェアin SAGA・ARITA 2023 Xmas</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R5.12.2～12.3 ・来場者数：約13,000名
	日韓海峡沿岸交流事業	<p>日本側4県（福岡県、佐賀県、長崎県、山口県）及び韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との知事会議等の開催を通して、両地域間における広域的かつ多様な交流の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R5.10.30～10.31 ・開催場所：全羅南道
	海外県人会交流推進事業費	<p>在外県人会に対する活動支援補助金により、会員同士の結びつきが強まり、県人会の活動が活性化された。</p>

課名	事業名	内容
国際課 (現国際政策グループ)	創造的プラットフォーム形成事業費	<p>○滞在型創作活動の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期2名、第2期2名、第3期1名の合計5名がそれぞれ約3か月間有田町に滞在し、創作活動を実施 <p>※R5年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、オランダの財団による選考が済んだものの、有田への渡航が叶わずペンディングになっていた参加者を受け入れたため、全員オランダの財団から支援を受けたクリエイター（一般公募なし）</p> <p>○情報発信</p> <p>※R5年度情報発信費の計上なし。グローバルSAGA推進事業と連携しながら情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ プリンセンホフ博物館博物館におけるCRA作品の展示 ・駐日スイス大使館（東京）での情報発信 <p>○事業に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ関係者（駐日大使館、オランダの財団、EKWC（ヨーロッパセラミックワークセンター）、国立陶磁美術館等）からの高い評価 ・特に駐日オランダ大使館では、大使館として最も重要視している政策の一つである「対外・国際文化政策」の事例の一つとして当該事業が高い評価を受けている。 ・オランダの焼き物のまちデルフト市のプリンセンホフ博物館において、オランダと有田の融合として特別展の一部として、CRAの作品を展示。洗練されたダッチデザインを、有田焼の技術で具現化した好事例として高い評価を受けている。
	2023順天湾国際庭園博覧会庭園出展事業費	<p>リニューアルオープンした国際庭園博覧会において、佐賀県の伝統芸能の公演や書道パフォーマンス、佐賀酒などの佐賀県産品のPRイベントを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県 ・期間：R5.10.29（日） ・会場：順天湾国際庭園博覧会（韓国・全羅南道） ・内容：佐賀県芸能（三味線、書）のステージ等 PRブースにての佐賀酒、佐賀産ミカンジュース、緑茶の試飲等 ・観覧者：約300名
	交流大使委嘱	<p>県のさまざまな観光素材や県産品等の魅力を広く海外に情報発信することで、県と相手国・地域の相互発展に寄与する人的・産業・文化・教育・学術の交流を推進するとともに、インバウンド誘客や県産品の輸出拡大等につなげることを目的に交流大使を委嘱した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6.2 前駐日タイ王国大使シントン・ラーピセートパン氏に「佐賀県タイ交流大使」を委嘱 <p>(過去の委嘱実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.3 香港EGLツアーズ代表取締役袁文英氏に「佐賀県国際観光大使」を委嘱 ・H29.10 人気俳優ティティ・マハーヨーターラック氏に「佐賀県タイ文化交流大使」を委嘱 ・H31.2 フィリピンのカルロス・ドミンゲス財務大臣夫妻に佐賀県の観光親善大使「さがいこう大使」を委嘱 ・R4.3 チャイナエアライン東京支社長張鴻鐘氏に「佐賀県台湾交流大使」を委嘱 ・R4.10 前駐日フィンランド大使ペッカ・オルパナ氏に「佐賀県フィンランド交流大使」を委嘱
国際課 (現多文化共生が推進課)	海外交流推進事業	<p>○学校交流は訪問、オンラインおよび手紙等の交流を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全羅南道：4校（高志館、佐賀農業、神埼中、千代田中） ・台湾：1校（鳥栖商業） <p>○佐賀県内の学校とホストタウン相手国の学校（オランダ2校）間で、オンラインディスカッションやポスター作成などを通して青少年交流を実施</p> <p>○全羅南道職員の受け入れを実施</p> <p>○韓国（全羅南道）との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全羅南道庁訪問（7月佐賀県：国際課長ほか、全羅南道：国際協力官ほか） ・小学生のテコンドー交流の実施（全羅南道から佐賀県へ受入） <p>○中国（遼寧省、貴州省）との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度の青少年交流（佐賀県から貴州省へ派遣）に向けた協議の実施（貴州省）
	JICAボランティア支援事業	<p>佐賀県出身JICAボランティアの活動報告「とびだそう！世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。</p>
	国際交流支援拠点の運営	<p>多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。</p>

課名	事業名	内容
国際課 (現多文化共生さが推進課)	外国人に関する総合相談窓口運営	外国人に関する相談窓口の機能を強化するため、国際交流プラザ内に「さが多文化共生センター」を設置し、様々な相談対応を行った。 ・相談体制：専任相談員2名 ・相談言語：21言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、マレー語、ネパール語、タガログ語、インドネシア語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語） ・実施主体：公益財団法人佐賀県国際交流協会（県の委託） ・相談実績：R5年度（R5.4.1～R6.3.31）661件
	在住外国人支援事業	多文化共生の地域づくりの推進のため、外国人住民の生活環境づくりを行った。 ○防災支援 佐賀ランゲージセンターの留学生を対象に外国人のための体験型防災セミナーを実施した。また、民間団体、個人、行政職員向けに、外国人と共に取り組む災害対応セミナーを実施した。 ○医療支援事業 医療通訳サポーターの医療機関への派遣及び通訳サポーター研修を実施した。医療機関を受診の際、新型コロナウイルスワクチン接種のための予約・問診の際、電話による通訳サービスを使用できるよう設置し、広く周知を行った。 ○生活相談支援事業 県内市町行政機関の担当窓口等（役場や福祉事務所等）が円滑な相談対応をできるようにするため、電話通訳サービスの利用を行った。
	多文化共生地域の場づくり推進事業	「生活者としての外国人」が日本人住民と交流を通して、日本で生活する上で必要な日本語や生活のルール、文化、風習などを学び、「顔の見える関係づくり」を目的とする地域日本語教室を県内の各市町に設置することで、外国人住民の日本語学習機会や地域住民等との交流の場を整備、充実させた。 ・設置状況：地域日本語教室設置地域14市町 ・地域日本語教室の数：県内22か所（行政主催：8市町8か所、ボランティア主催：14か所）
	多文化共生環境整備事業	R3～4年度にかけて実施した外国籍住民へのアンケート調査、県内市町でのタウンミーティング、学校でのスクールミーティング及び多文化共生の推進に係る施策検討会議での意見を踏まえ、多文化共生の推進に係る施策の方向性を示すほか、県内の優良な取組事例等をまとめた「さが多文化共生推進アクション」を策定し、その活用と更新を図った。
	多文化共生に関する行政職員向け研修会	多文化共生を進めるうえで、住民に対して直接行政サービスを提供する市町との連携は極めて重要であることから、更なる強化を目的に県内20市町の職員及び県職員を対象に研修会を開催し、県内の実務者の顔の見える関係づくりを構築し、情報共有を図った。 ・開催日：【1回目】R5.5.23 【2回目】R5.10.10 ・研修内容： 行政が取り組む多文化共生、災害時の外国人支援、コミュニケーション支援（やさしい日本語、災害情報の多言語発信、多言語通訳コールセンター）、在留資格にまつわるケーススタディ、外国人相談窓口の機能（さが多文化共生センター）、地域おこし協力隊制度の紹介等
	外国人留学生県内就職・進学支援事業	県内事業所での優秀な外国人材の活用、県内の多文化共生の地域づくりを図るために、外国人留学生の県内定着率の向上に取り組んだ。 外国人留学生の県内就職・進学に取り組む大学等に対し補助金を交付した。
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 ・支援金受給者：9名 ・支援者：5つの企業・団体、2つの個人グループ
	多文化共生の地域づくり事業	地域おこし協力隊制度を活用し、「多文化コミュニケーションプランナー」1名を配置。地域における多文化共生の意識醸成を図るとともに、地域と外国人をつなぐ仕組みづくりを実施した。
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員4名（ベトナム1名、韓国1名、中国1名、フィンランド1名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
	外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手（Assistant Language Teacher: ALT）、国際交流員（Coordinator for International Relations）の設置のサポートを県内の市町に実施した。 ・JETプログラムによるALT・CIR（国際交流員）数： 県や9市町及び1私学に37名（国籍：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ等）

課名	事業名	内容
空港課	上海便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.9から約3年半ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：R5.9.6～週3便、R5.10.18～週2便、R6.4.1～週3便 利用者数：13,643人
	西安便の運航	九州佐賀国際空港と西安咸陽国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR5年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—西安咸陽国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：— 利用者数：—
	ソウル便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.9から約4年ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：R5.9.8～週3便、R5.10.29～R6.3.29週4便 （うち、R6.1.4～3.2まで週7便） 利用者数：40,279人
	台北便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.4から約3年ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：R5.4.2～週2便 利用者数：35,075人
港湾課	港湾振興事業	<p>【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際定期コンテナ航路：4航路週8便（R6.3月現在） ①天津・大連・青島航路、②上海航路（2便/週）、③釜山航路（4便/週）、 ④国際フィーダー航路（神戸港経由） ・R5国際コンテナ取扱実績数：27,475TEU <p>【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国クルーズ船の誘致等に関する事業及び寄港受入を実施した。 ・R5年外国クルーズ船寄港数：13回（過去最高）
文化課	海外映画ドラマ等のロケ誘致	映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ等のロケ誘致を行っている。R5年度は、マレーシアドラマを誘致し、現地で放映されたところ大きな反響があり、続編の制作も決定した。その他、フィリピン映画の撮影も誘致するなど、海外からのロケハン及び撮影の受け入れも再開した。
	佐賀映画魅力発信事業	タイで開催された民間企業主催の「ジャパンエキスポ」と国際課主催の「佐賀県総合レセプション」において、これまでフィルムコミッションで撮影支援したタイの映画・ドラマを紹介し、再認識してもらうことで、作品を通して佐賀の風景や文化に触れていただき、新たな作品の誘致や現地の方に佐賀に親しむきっかけ作りに取り組んだ。 ○ジャパンエキスポ 日時：R6.2.2～2.4 ○佐賀県総合レセプション 日時：R6.2.2 ※同日にタイ王国文化省芸術局と佐賀県のMOUに基づき、タイ王国文化省を知事が表敬訪問し、意見交換を行った。

課名	事業名	内容
九州陶磁文化館	在外肥前陶磁調査事業	九州陶磁文化館学芸員の海外派遣調査事業 海外の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼の展示機会の促進及びより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的としている。 【概要】 ・調査：韓国（国立光州博物館、国立中央博物館、国立古宮博物館、漢城百済博物館、ソウル歴史博物館）
	国際学術・文化交流事業	○韓国国立光州博物館との学術交流協定 韓国の国立博物館の中で陶磁器を主なテーマとして活動を行うこととなった光州博物館とH31.3.27に5年間の学術交流協定を締結した。光州博ではコロナ禍の間に常設展示を大きく見直し、陶磁器をテーマにアジア陶芸文化室をオープンした。 さらにR7.10には世界と韓国の陶磁文化を紹介する陶磁器専用の新館「陶磁文化館」がオープンする予定。R5年度は、学術交流協定をさらに5年間（R11.3.29まで）延長し、交流を継続できるように学術分野の情報交換などから進めていくことを確認。光州博物館の協力を得て、韓国での上記の肥前陶磁所在調査を行った。 ○肥前磁器 中国巡回展（名称未定）への協力 R7年から中国各地を巡回して開催予定の展覧会に館蔵品約100件の出品準備と展示内容の監修等の協力を進めている。
	外国人来館者等への多言語対応	○多言語化推進 館内パンフレットの多言語化を進めた。（英語、ドイツ語、フランス語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語版を作成） ○リニューアルに伴う展示解説の英訳 R4.4にリニューアルした第1展示室「有田焼の歴史」の展示内容を解説したガイドブックの英語版をR6.3に刊行した。
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	○韓国国立晋州博物館との交流事業 国立晋州博物館との間で締結した交流協定（平成14年度～）に基づき、展覧会・資料調査・文化財の貸与などそれぞれの事業に対して相互協力を実施。R5年度は、常設展示リニューアル事業の参考とするため、R6.3.4～3.7の期間で当館から3名が出張し、博物館展示や文祿・慶長の役関連遺跡の調査を実施した。また、R5.10.30～11.1には晋州博物館学芸員の県内での調査を支援した。
		○韓国語講座 ・期間：前期 R5.5.13～9.9（毎週土曜日、全12回） 初級28名 後期 R5.11.11～R6.3.2（毎週土曜日、全12回） 中級18名 ・会場：本館 図書閲覧室 ・講師：本館 国際交流員 千 譽沅
		○第18回韓国語スピーチコンテストinなごや ・期日：R5.10.22（日）13時～16時30分 ・会場：本館ホール ・出場者：33名（スキット部門11組22名、スピーチ部門11名） ・後援：駐福岡大韓民国総領事館、福岡韓国教育院、韓国観光公社
	県内学校の日韓交流事業への協力	○唐津市立名護屋小学校 ・内容：国際交流員による韓国文化・韓国語に関する出張授業を実施 ・対象及び回数：1年生～6年生の児童、4回
博学協働授業	○県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 ・概要：唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定される学校設定科目「日韓交流史」（2単位）を、本館と学校との協働により年間を通じて運営。H18年度から継続。 ・対象・回数：人文・芸術系列人文コース2年生（R5年度は7人） ・回数：23回 ・授業内容：名護屋城跡・陣跡を中心とした日韓交流史、韓国文化	
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	・外国語による館内表示 ・佐賀城本丸ボランティア外国語班による来館者への展示解説 ・中国語と韓国語の通訳ガイドによる展示概説（事前予約制）
	広報誘客事業	・外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語） ・外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）30台

課名	事業名	内 容
スポーツ課	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（誘致プロモーション活動）	世界陸上2025東京大会、世界水泳2025シンガポール大会、アジア競技大会2026愛知・名古屋大会に向けたプロモーションを、ニュージーランド・オーストラリア、タイ王国にてそれぞれ実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（視察招聘）	世界水泳選手権2023福岡大会事前キャンプ誘致に向け、競技関係者の招聘を実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（機運醸成）	世界水泳2023福岡大会 水泳オーストラリア代表受入時の機運醸成
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（事前キャンプ受入）	世界水泳2023福岡大会 水泳オーストラリア代表受入
観光課	外国人観光客誘致対策事業（（一社）佐賀県観光連盟事業費補助）	<p>（1）外国人観光客誘致対策事業</p> <p>○韓国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション7回（国内・韓国） ・旅行会社等の招請18件（韓国旅行会社の支店等） ・旅行会社等とのタイアップ9社 ・韓国語版ホームページの運営、SNS・インフルエンサー、韓国日刊紙における広告を活用した情報発信 ・公式ブログ開設 ・ガイドブック及びカフェブックの更新増刷
		<p>○中国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション9件（国内・中国・香港） ・旅行会社等の招請19件（中国・香港旅行会社の支店、メディア等） ・旅行会社等とのタイアップ10件 ・旅行博出展等5件（中国・香港） ・HONG KONG BOOK FAIR 福岡県、長崎県、熊本県との共同ブースの出展 ・簡体字版ホームページ「佐賀ー純静日本」の運営 ・微博（ブログ）の運営 ・高付加価値旅行商品プロモーション事業（富裕層向けモニターツアーの実施、モデルコース作成等） ・SNSを活用した地域連携による中国市場向け情報発信 ・PR用パンフレット（紙媒体・電子媒体）を制作
		<p>○台湾人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（現地航空会社、旅行会社及び国内ランド社等） ・旅行会社とのファミトリップ12件 ・旅行会社等とのタイアップ5社 ・旅行博等出展5件 ・現地配置スタッフによる情報収集、観光セミナー開催ほか ・繁体字版ホームページ「元気佐賀」の運営、SNSを活用した情報発信 ・台湾メディアミックスプロモーション ・「楽吃購！日本」を活用した台湾向けプロモーション ・パンフレットの更新増刷
		<p>○東南アジア観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（国内・タイ・シンガポール・ベトナム・マレーシア） ・旅行会社とのタイアップ（12件） ・ファミトリップ（シンガポール・タイ） ・旅行博出展6件 ・ウェブサイト「Trip to Saga」による情報発信 ・Facebook維持管理 ・各市場向けSNSを活用した情報発信、パンフレット・ガイドブック制作
		<p>○欧州地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション3回（イギリス・フィンランド・オーストラリア） ・VJTM 出展及び在京ランド社等セールス ・英語圏の旅行雑誌などへの広告掲載、記事掲載による情報発信 ・在京富裕層向けイベントの実施 ・英語版ホームページ（Saga Trip Genius）の運営、SNSを活用した情報発信 ・高付加価値インバウンドプロモーション事業実施

課名	事業名	内容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	(2) 受入環境整備事業 ○観光客受入環境整備支援事業：多言語化ほか 観光施設や宿泊施設などの受入施設において、高齢者、障がい者及び外国人へのサービスを充実させるため、バリアフリー改修工事、外国語（特に英語、ハングル、中国語繁体字、簡体字）での案内表示、HPでの案内、Wi-Fi設置などを行う観光事業者に補助金を交付し、外国人観光客受入環境整備を促進(補助実績：10件)
		○観光客等サポートサービス事業 言語コミュニケーションの問題により円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするために、通訳サービスが可能なコールセンターと目的地や店舗情報などを外国語で検索ができる観光アプリ「DOGAN SHITATO?」を提供 ・コールセンター（24時間365日対応） 対応言語：20言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語及びヒンディー語） ・観光アプリ「DOGANSHITATO?」 対応言語：5言語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、日本語）
		○多言語メニュー作成支援事業 県内店舗に対し、ベジタリアンメニューの開発、ブラッシュアップ及び多言語メニュー表の作成（30店舗分）
観光課	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	北部九州3県及び山口県と韓国1市3道（釜山広域市、慶尚南道、済州特別自治道、全羅南道）で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第30回日韓海峡沿岸観光交流会を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のための各種事業を実施 ○日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議：R5.7 ○日韓観光情報交換会【日韓共同事業】：R5.10 韓国釜山広域市にて開催される釜山国際観光展に8県市道で参加し、観光情報のPRを実施。また、釜山広域市におけるモニターツアー（日本側4県が参加）を実施し、意見交換とアンケート調査を実施 ○国際観光博覧会共同参加事業【日韓共同事業】：R5.11 WTM2023へ共同参加し、日韓8県市道の主要観光地等の観光素材をPR ○韓国向け情報発信事業【日本単独事業】：R6.2 事業内容：R3年度に作成した日本側4県の観光情報映像（日韓海峡沿岸広域観光協議会公式YouTubeチャンネル掲載）及びR5年度に作成した日本側4県公報リーフレットを活用し、韓国に対する同4県のプロモーションを韓国のブログ等の媒体に掲載することにより実施。 対象国：韓国
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業（教育改革推進加算）	私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」に関する経費について補助額の加算を行った。1校あたり900千円を上限に加算した。 ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への留学に係る費用の助成等
自治修習所	県職員外国語習得支援	グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。 ・自己啓発活動支援事業（外国語検定試験受験経費助成：17名） ・自己啓発活動支援事業（語学スクール受講等経費助成：5名） ・自己啓発活動支援事業（外国語自主学习習会活動経費助成：1グループ）
有明環境再生セン・タ環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）と九州北部3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 ○共同事業「日韓8県市道環境政策・研究事例発表会」の実施 R5.5.25、R5.10.26（オンライン開催）
産業人材課	産業人材ステーション事業	県庁新館1階に「佐賀県のしごと相談室」を設置し、外国人材とそれらの人材を求める企業とのマッチング支援を実施（他UJIターン転職希望者・シニア人材が対象）。相談窓口機能の強化を図るため、R1.6月から専任相談員を配置するとともに、隔週に1日、佐賀県在住の外国人材が多く集まる国際交流プラザに派遣。R5年度における就職支援数6名。

課名	事業名	内容
流通・貿易課	輸出開拓・促進事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	「さが県産品流通デザイン公社」が県産品のさらなる海外販路拡大を目指し、新たな販路獲得のため、以下の事業を実施した <ul style="list-style-type: none"> ・香港AEONにおける「佐賀県フェア」の開催 ・香港レップによる現地活動 ・中国向け佐賀県産酒類等輸出販路促進拡大事業 ・中国深セン市、長沙市における佐賀酒販路開拓
	海外市場における佐賀ブランド確立事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	○佐賀県農林水産物等輸出促進協議会 佐賀牛や青果物等の輸出促進を図るため、JA等と連携し、海外でのプロモーション等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・香港・マカオ <ul style="list-style-type: none"> －小売店、スーパーでの佐賀牛の販売フェア －展示会での佐賀県産果物、佐賀牛の販売プロモーション －飲食店での佐賀牛フェア －佐賀牛、いちごさんのバス広告等事業 －人気日系かき氷店舗でのいちごさん消費拡大プロモーション －在香港日本総領事館主催の天皇誕生日レセプションにおける佐賀牛プロモーション ・シンガポール <ul style="list-style-type: none"> －輸入事業者、佐賀牛取扱いレストラン等訪問 ・タイ <ul style="list-style-type: none"> －小売店での佐賀牛の販売フェア －県総合レセプション出席 ・フィリピン <ul style="list-style-type: none"> －飲食店、ホテルでの佐賀牛フェア ・台湾 <ul style="list-style-type: none"> －飲食店での佐賀牛フェア ・欧州 <ul style="list-style-type: none"> －国際食品見本市「Anuga 2023」における佐賀牛ブースの設置 ○佐賀県酒類輸出促進協議会 「2023 台北国際酒展」における佐賀酒ブース出展 <ul style="list-style-type: none"> ・台北で人気上昇中の酒のイベントにおいて、佐賀酒ブースを出展 佐賀酒の認知向上と販路拡大及び新規商流構築を目的とし、各銘柄の特徴を説明しながら、現地の飲食関係者、インポーター、一般消費者へ試飲を実施
	貿易振興事業	本県における貿易の振興を図るため、ジェトロ佐賀と連携し以下を実施 ○佐賀県ものづくりグローバル研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー1回開催 ○貿易スキルアップ講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー1回開催
	佐賀牛によるEU市場参入プロジェクト事業	佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得後、欧州への佐賀牛輸出がスムーズに開始できるよう、欧州での佐賀県産品の存在感を高める取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・欧州各国を対象とした市場調査 ・国際食品見本市「Anuga 2023」への参加 ・佐賀牛多言語パンフレットの制作 ・日本酒交流イベント「Salon du Saké」へのブース出展 ・フランスにおける日本酒コンクール「Kura Master」にスポンサーとして参加 ・MADE IN JAPAN IN MONACOへのブース出展 ・在オランダ日本大使館での日本食普及推進委員会交流会及び天皇誕生日レセプション用佐賀酒PR
	佐賀牛輸出促進コンソーシアム事業	佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得に向けて、佐賀牛の輸出関係者で組織する輸出促進コンソーシアムでの取組を支援 ○国際食品見本市「Anuga 2023」への出展 R5.10.7～10.11までの期間、ドイツ・ケルンで開催された「Anuga 2023」に参加。日本畜産物輸出促進協議会の「日本産和牛」ブースの中に出品し、佐賀牛をPR ○プロモーション等に活用するための写真素材、動画制作 佐賀牛の写真素材、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」の多言語プロモーション動画を制作
EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援事業費	佐賀酒の海外市場への輸出を促進するため、酒類の国際コンペティションへの出品に必要な経費の一部の補助を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・対象業種：酒類製造免許を有し、県内で酒類の製造を行う者 ・対象経費：補助対象経費の3分の2以内 ・補助上限：10万円/社 ・対象事業：日本酒、焼酎及びリキュールを次の国際コンペティションに出品する事業 <ul style="list-style-type: none"> ① IWC (インターナショナルワインチャレンジ) [イギリス] ② Kura Master (クラマスター) [フランス] 	

課名	事業名	内容
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	<p>日本側4県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国側1市3道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時：R5.10.16～18 場所：韓国 全羅南道 出席者：韓国側14名（釜山広域市2名、全羅南道6名、慶尚南道2名、済州特別自治道3名、通訳1名） 日本側16名（山口県4名、福岡県4名、佐賀県4名、長崎県3名、通訳1名）
		<ul style="list-style-type: none"> ○日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。 日時：R5.11.15～17 場所：韓国 全羅南道 出席者：韓国側12名（漁業者8名、全羅南道3名、通訳1名） 日本側12名（漁業者6名、山口県1名、福岡県1名、佐賀県1名、長崎県2名、通訳1名） ○日韓水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗放流を放流した。 日時：R5.10.17 場所：韓国 全羅南道 放流数：マダイ 2,000尾
教育振興課	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業	<p>グローバル化の進展に対応するため、小学校高学年及び中高生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中、高校生の海外留学等への助成 小中高を対象とする、グローバル人材育成のための講師派遣、イングリッシュ・デイ、英会話キャンプ等の実施 ホストファミリーバンクの整備、留学や海外からの学校交流の受入促進事業を実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	<p>本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、南アフリカから16名の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。</p>
	外国語指導助手指導力等向上研修	<p>外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに参集型で研修会を実施した。（R5.11）</p>

(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業（令和5年度）

事業名	内容
情報収集・提供	外国人住民に対する地域情報の提供及びコミュニケーション支援、特に災害時や緊急時の情報発信・情報共有に役立てるため、広く県民や外国人住民が利用できる情報ネットワークを構築するとともに、ホームページやFacebook等を通じ、多言語で情報発信を行った。
情報紙「Hello Saga」の発行 (外国人向け)	外国人住民に対するコミュニケーションのため、防災・交通安全やさまざまな生活情報をやさしい日本語で記載した情報誌を作成し、外国人住民に提供した。 ・発行：年2回 各2,000部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA日本語スピーチコンテスト	外国人住民の日本語学習促進のため、日本語学習の成果発表の場となる日本語スピーチコンテストを実施した。 ・日程：R5.10.8 ・参加者数：青少年部門6名、成人部門14名 計20名
地域日本語教室支援事業	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、外国人住民に日本語指導を行う地域日本語教室に対し、教材費等の教室運営に要する経費の助成や広報支援を行った。 ・支援実績数：11教室
SPIRA日本語学習ボランティア研修	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語指導ができるボランティアを養成するための研修会を実施した。 ・日程：全3回 (R6.1.20、1.24、2.8) ・参加者数：57名 (延べ)
教育支援事業	日本語学習サポーターや子ども通訳サポーターの派遣、及びサポーター養成講座を実施した。 ・派遣実績：子ども日本語学習サポーター 31件 子ども通訳・メンタルサポーター 12件 ・子ども日本語学習サポーター養成講座 日程：全4回 (R6.1.20、1.31、2.14、2.27) 参加者数：75名 (延べ)
情報誌「Hello Saga」の発行 (日本人向け)	県内の国際交流・協力や多文化共生事業に関する情報誌を作成し、情報提供を行った。 ・発行：年4回 各2,000部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA出前講座	異文化や多文化共生、国際協力の理解促進のため、県内在住の外国人住民や協会職員、県内民間国際協力団体の海外経験豊富な日本人を講師として派遣・紹介し、外国の習慣や文化、多文化共生に関する講座を開催した。 ・派遣件数：71件 ・派遣講師数：102名 (延べ) ・受講者数：5,764名
国際交流・協力イベント事業	国際交流・協力・多文化共生に対する理解を深め、活動への参加を促すため、県内の民間国際交流団体やボランティアと協働し、国際交流・協力イベントを実施した。 ・期間：R5.10.1～31 ・場所：県内各地 ・メインイベント：R5.10.29 神埼市役所駐車場 来場者約1,800名
SPIRA多文化共生人材育成講座	外国人住民の生活や活動の支援など、多文化共生事業の核となる人材の意識向上、活動の活性化等を図るため、多文化共生の推進にかかる講演会を開催した。 ・日程：R5.11.11 ・場所：佐賀商工ビル 会議室 ・講師：星野ルネ氏 (カメルーン出身) ・参加者：約80名
多文化共生等助成事業	県内の多文化共生の地域づくりのため、県内の国際交流団体等が行う多文化共生事業、国際交流事業、国際協力事業に要する経費の一部を助成した。 ・助成件数：多文化共生事業 10件 国際交流事業 (国内) 3件
多文化共生情報発信事業	地域社会全体の意識啓発や外国人住民の社会参画を促進するため、外国人住民と地域住民が一緒に参加するラジオ放送を実施した。また、多文化共生事業の周知広報のため、佐賀県国際交流協会の紹介動画を作成し、視覚的な情報発信を実施した。 ・ラジオ放送 (えびすFM) 毎月1回 (年間12回)

(3) 市町の事業（令和5年度）

市 町 名	事 業 名	事 業 の 概 要
佐 賀 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・連雲港市との交流 ・日本語学習推進事業 ・ウクライナからの避難民支援 <p>【民間団体等の主催事業】</p> <p>○佐賀市国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講座 ・在住外国人によるパネルディスカッション ・留学生オリエンテーション ・国際家庭料理講座 ・子育て支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員（CIR）1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成（18名） ・姉妹都市締結35周年記念公式・市民訪問団を派遣（公式6名、市民13名）。また、教育交流訪問団を派遣（中高生17名、引率者5名） ・公式訪問団を受入（6名）。また、民間交流である佐賀市内小学校と蓮堤区のトヒョン初等学校との交流において、児童訪問団が蓮堤区へ派遣される活動の一部を支援 ・中学生生徒訪問団を派遣（中学生9名、引率者3名） ・公式訪問団の受入を予定していたが、未実施 ・日本語学習支援者養成講座（入門編）を5回実施 ・佐賀県とCSO（民間団体）と佐賀市の3者で避難民の受入支援プログラム（SAGA Ukeire Network）を構築し、避難民支援を実施 ・多文化理解・多文化共生講座3回開催。佐賀市内中央施設だけではなく、アウトリーチ事業として別地域でも開催。宗教や食文化における習慣の違いについても開催（参加者数39名） ・在住外国人をパネリストとして迎え、「母国の冠婚葬祭」をテーマとし母国の冠婚葬祭の特徴、日本の結婚式・葬儀の違いや宗教による人の見送り方（葬儀の執り行い）の違いなどについての説明を実施（参加者数19名） ・西九州大学・短期大学の新入留学生を対象に、防災・交通安全などの講座を開催（参加者数34名） ・料理を作りながら交流を深めるために、フィリピン料理講座、日本料理講座を開催（参加者数30名） ・参加者同士のネットワークの構築に努めるために、外国に繋がる子どもと保護者を対象に、困りごとに関する相談会を開催（参加者数15名）。また、新1年生になる子どもを持つ保護者を対象に、入学準備に向けたサポートを佐賀市教育委員会と連携し開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・バルーンフェスタホームステイ事業 ・スポーツ交流会 ・初級日本語集中講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体がさが♥わーるどりんぐと共催で、保護者の悩みを聞く場や子ども同士の交流からネットワーク構築を図るため、意見交換会やワークショップを開催（参加者数 223 名） ・「2023 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」開催時に外国選手チームのホームステイのアレンジ（受入人数 52 名 13 か国） ・バドミントン、卓球、バスケット他軽スポーツを通して市民との親睦を図るための交流会を開催（参加者数 43 名） ・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国人を対象に、日本語集中講座を 3 回開催（受講者数 14 名）
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・日中韓囲碁大会 ・韓国西歸浦市との交流 【民間団体等の主催事業】 ○唐津ボランティアガイド ○まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 ○唐津日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市である中国揚州市、韓国麗水市と囲碁を通しての交流（R5 は揚州市で開催されたが日程が合わず唐津市は不参加） ・第 14 回済州国際青少年フォーラムへの参加（高校生 4 名、随行者 1 名参加） ・インバウンド・クルーズ関連の講演会の開催（50 名程度参加） ・百済武寧王を通じた韓国公州市との交流（加唐島での武寧王生誕祭の開催、韓国で開催される百済文化祭への参加） ・在留外国人との料理教室を 2 回開催（第 1 回 19 名、第 2 回 17 名参加）
鳥栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖ツァイツ子ども交流事業 ・国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナからドイツへの避難状況や、新型コロナウイルス感染症の影響により、ツァイツ市の学生の受入中止。代わりに、市内の小中学校 12 校の児童生徒の絵画とツァイツ市の児童生徒及び市民の絵画を交換し、それぞれの市で展覧会を開催し、市民に鑑賞してもらう交流の実施 ・市内の国際交流団体との会議を開催（7 回）。 ・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」を 3 回開催。 <ul style="list-style-type: none"> < 1 回目 > 街歩きイベント「とす長崎街道まつり」に参加 （日本人及び海外 5 か国から 81 名が参加）（R5. 10. 15） < 2 回目 > 市内の山を会場に、スタンプラリーを開催 （日本人及び海外 6 か国から 69 名が参加）（R5. 11. 23） < 3 回目 > 市内の商業施設の舞台上で各国の踊りや音楽等を披露するショーを開催 （日本人及び海外 7 か国から 49 名が参加）（R6. 2. 4）

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語教育事業 ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」 ・やさしい日本語クイズ ・がいこくじんのかたへ ・出前講座 ・「やさしい日本語」職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活者としての外国人」のための日本語教室を実施(全17回、外国人延べ68名/にほんごパートナー延べ66名参加) ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」を市報の奇数月号に掲載 ・やさしい日本語クイズを市報の奇数月号に掲載 ・市ホームページに、生活情報や各種相談、自転車のルールなどについて、やさしい日本語と多言語で掲載 ・市職員が地域に出向き、多文化共生や「やさしい日本語」について説明(①R5.5.30・24名、②R5.11.13・20名、③R5.12.6・11名、④R5.12.15・31名) ・市役所の職員を対象に、「やさしい日本語」職員研修を開催。その際に市内の日本語学校の留学生も参加して「やさしい日本語」を使った実践での会話の練習を実施(参加者数29名、留学生5名)(R5.11.16)
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 【民間団体等の主催事業】 ・早稲田大学留学生地方訪問文化インターンシップ ・義務教育学校における短期留学生制度事業 ・多久日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)3名の活用 ・早稲田大学外国人留学生受入 ・市内義務教育学校生徒(8年生3名)がアメリカで短期間ホストファミリー宅に滞在 ・地域に居住された外国人に日本語の教室(週1回)
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・市から地域日本語教室「オーサム・イマリ」を市国際交流協会に委託し、また、公益財団法人かめのり財団の事業助成を受けながら、日本語教室「Awesome IMARI」を計15回実施 <第1回> 「日本語を使ったミニゲーム会」を名村団地で開催 参加者31名(うち学習者16名)(R5.5.28) <第2回> 「伊万里産を使って料理を作ろう」を立花コミュニティセンターで開催 参加者31名(うち学習者10名)(R5.7.13) <第3回> 「ジョイントコンサート」を生涯学習センターで開催 参加者85名(うち学習者36名)(R5.7.23) <第4回> 「茶道体験」を市役所ロビーで開催 参加者55名(うち学習者40名)(R5.7.25) <第5回> 「餃子会」を市民センターで開催

	<p>参加者 58 名（うち学習者 19 名）（R5. 7. 27） <第 6 回> 「川内野で世界一周 GOHAN 旅」を川内野公民館で開催 参加者 20 名（うち学習者 8 名）（R5. 7. 30） <第 7 回> 「食とマナー」を黒川コミュニティセンターで開催 参加者 54 名（うち学習者 37 名）（R5. 8. 27） <第 8 回> 「自転車教室」を伊万里自動車学校で開催 参加者 31 名（うち学習者 22 名）（R5. 9. 24） <第 9 回> 「ボーリング大会」を伊万里スターボウルで開催 参加者 71 名（うち学習者 58 名）（R5. 10. 15） <第 10 回> 「サッカー大会」を名村グラウンドで開催 参加者 67 名（うち学習者 51 名）（R5. 11. 4） <第 11 回> 「着付け IN 大川内山」を伊万里・有田焼伝統産業会館で開催 参加者 31 名（うち学習者 16 名）（R5. 11. 12） <第 12 回> 「キムチづくり」を大坪コミュニティセンターで開催 参加者 41 名（うち学習者 26 名）（R5. 12. 12） <第 13 回> 「防災と食」を黒川コミュニティセンターで開催 参加者 63 名（うち学習者 47 名）（R5. 12. 17） <第 14 回> 「もちつきと春の七草」を「癒の屋〜リアン」で開催 参加者 27 名（うち学習者 7 名）（R6. 1. 7） <第 15 回> 「国際交流ひろば」を大坪コミュニティセンターで開催参加者 103 名（うち学習者 29 名）（R6. 2. 4）</p> <p>○伊万里市国際交流協会 ・日本語指導者養成講座（オンライン）</p> <p>○伊万里市日中友好協会 ・大連市訪問</p> <p>○伊万里市国際交流協会 ・中国語教室</p>	<p>・講師：市多文化共生マネージャー 章 潔（ショウ ケツ）さん （R5. 5. 8～R6. 3. 11 の毎週月曜日 10:30～11:30、計 30 回、受 講者 31 名） ・第 1～10 講：教授法の基礎知識 ・第 11～20 講：欧米系学習者を対象にしたコースデザインと教 授法（会話学習） ・第 21～30 講：アジア系学習者を主な対象にした教授法</p> <p>・大連市中日友好協会からの招聘に、伊万里市日中友好協会の 6 名が「第 5 回中日（大連）十都市千人アカシアウォーキング大 会」に参加（R5. 5. 19～22）</p> <p>・中国語教室が市民活動支援センターで開講</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ○中国大連市中日友好協会 <ul style="list-style-type: none"> ・伊万里訪問 ○中国大連市人民対外友好協会 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年交流 ○佐賀県日中友好協会 <ul style="list-style-type: none"> ・中国語スピーチコンテスト ○県国際交流協会 <ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座 ○日韓友好協会 <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師：章 潔さん（R5. 7. 11～12. 5 の毎週火曜日 14:00～15:00、計 18 回、受講者 5 名） ・大連市中日友好協会于建軍（ウケンゲン）会長ほか 18 名が市役所表敬訪問。翌日、伊万里市民センターで伊万里日中友好協会の会員と交流会を開催。交流会後、御一行が大川内山を散策（R5. 7. 26～7. 27） ・「中日青少年交流ウィーク」に参加するため、伊万里市の高校生 10 名が大連市を訪れ、中国の青少年らと国際交流を実施（R5. 9. 20～9. 26） ・「第 41 回中国語スピーチコンテスト佐賀県大会」が龍谷高等学校で開催。伊万里市中国語教室から計 4 名が参加 <ul style="list-style-type: none"> 【一般・朗読の部】：安部大造さん（第 2 位） 梶野智恵子さん（第 3 位） 【一般・暗誦の部】：佐藤和幸さん（第 1 位） ・第 6 回「中国を知る」市民公開講座が市民活動支援センターで開催 <ul style="list-style-type: none"> ・講師：章 潔さん ・第 1 講：市日中友好協会大連市訪問について（R5. 11. 15 18:30～19:30、受講者数：16 名） ・第 2 講：大連市中日友好協会来伊について（R5. 11. 22 18:30～19:30、受講者数：19 名） ・第 3 講：市青少年大連市訪問について（R5. 11. 29 18:30～19:30、受講者数：27 名） ・日韓友好協会主催の「クリスマスフェスタ」が JR 伊万里駅前公園で開催。参加者約 260 名（R5. 12. 9）
武 雄 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け相談窓口の設置 【民間団体等の交流事業】 ○たけおワールドフレンズ（TWF） <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流事業 ○ICE-T <ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日（土日祝日除く）の 9 時から 17 時に開設し、やさしい日本語で対応。その他言語は、県の機関と連携し対応 ・R1～R4 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業を中止していたが、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へ移行したことを受け、R5. 7 に訪問団の受入れ、R6. 3 に派遣事業を実施 ・食文化やスポーツを通じた交流イベントの開催

鹿 島 市	<ul style="list-style-type: none"> 釜山外国語大学校との交流 韓国テソ小学校との交流 外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> 第 39 回鹿島ガタリンピックに教授・学生ら 33 名が参加 釜山外国語大学校へ訪問（市から 5 名） テソ小学校生徒 11 名が来日し、伝承芸能、音楽等の文化交流を実施 外国語指導助手（ALT）2 名の活用
小 城 市	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校外国語講師活用事業 小城市二十歳の式典 中国浙江省海鹽県との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手（ALT）の活用、民間講師 7 名（小・中学校の英語教育及び英語活動実施） 式典リーフレット英語表記を追加、式典参加者 391 名に配布 海鹽県民と小城市民の絵画・書道による交流（海鹽県民の作品を市内公共施設および中学校で巡回展示）
嬉 野 市	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 在住外国人向け日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手（ALT）1 名の活用 国際交流員（CIR）1 名の活用 地域日本語教室「カフェこくさいじん」を実施（月 2 回）
神 埼 市	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流事業 多文化共生事業 韓国霊岩郡交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> 友好姉妹都市フランス・ボークール市との交流 赤い翼プロジェクト実行委員訪問対応（R5. 4） やさしいフランス語講座の実施（R5. 7、R5. 8） ボークール市訪問団による神崎市訪問対応（R5. 10） 2023SPIRA さが国際フェスタでのブース展示（R5. 10） 韓国霊岩郡 朗州（ナンジュ）中学校との交流（神埼中学校） 新型コロナウイルス感染症等の影響により訪韓は中止 神埼中学校から手紙・伝統工芸品を送付 校長と教育委員会事務局で学校を訪問し、今後の交流について協議（R6. 1） 韓国霊岩郡 三湖西（サムホソ）中学校との交流（千代田中学校） 新型コロナウイルス感染症等の影響により、訪韓は中止 千代田中学校から手紙・伝統工芸品を送付 校長と教育委員会事務局で学校を訪問し、今後の交流について協議（R6. 1） 中国 山西大学附属中学校との交流（脊振中学校） 新型コロナウイルス感染症等の影響により、訪中は中止 山西大学附属中学校から手紙が届く。 脊振中学校から手紙・伝統工芸品を送付 日本語教室の実施（毎月 1 回、計 12 回実施） R5. 11 に霊岩郡訪日団を受入れ、歓迎晩餐会開催
吉野ヶ里町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手（ALT）2 名の活用（在留外国人講師）

	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室スタートアッププログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラム活用 (R3. 4～) 多文化共生を考える講演会開催 (R5. 7、R6. 2) 日本語教室「meet up よしのが里」開催 (R5. 4～R6. 2 計 11 回) 日本語教室で習って書いた習字を町の文化祭で出展 (外国人 7 人分)
基 山 町	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい日本語」研修会開催 市内コミュニケーションボードの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 町職員向けに「やさしい日本語」研修会を開催 外国籍住民などの日本語が不自由な方が、役場窓口で意思疎通するためのツールとして指差しで使用できるコミュニケーションボードを作成
上 峰 町	<ul style="list-style-type: none"> 日韓友好上峰町青少年驪州市訪問事業 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の第9波の流行を鑑み、訪問事業中止
みやき町	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室 <p>【民間団体等の主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流食文化交流 	<ul style="list-style-type: none"> 町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催 (オンライン、対面、それぞれ毎月 1 回) ケニア人出身の講師を招いてケニア料理作りを実施
玄 海 町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 国際交流事業 英語活動 保小連携英語活動 <p>【民間団体等の主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (公) 佐賀県国際交流協会 多文化共生理解出前講座 ○佐賀県教育振興課 イングリッシュ・デイ 海外研修等助成事業 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手 (ALT) 1 名の活用 英語教育及び異国文化理解学習の実施 (九州産業大学訪問 (5・6 年生)) 友好姉妹都市の韓国釜山広域市機張郡の首長、交流のあるフランスグラブリーヌ町の首長、インターンシップを受け入れている釜山外国語大学校に対する挨拶状交換 週に 1 回、低学年を対象に英語あそびを実施 保育園及び玄海みらい学園で交流活動を実施 2 園合同での国際理解活動 (アメリカデー、ハロウィン、クリスマス、イースター) 月 1 回の英語活動 参加者数 : 33 名 (玄海みらい学園 3. 5. 6 年生児童) 参加者数 : 42 名 (玄海みらい学園 8 年生) 町内在住の中学生が民間等の留学プログラムに参加した場合、費用の一部を助成 (参加者 8 名)
有 田 町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 英会話教室 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手 (ALT) 1 名活用 (R4. 8～) 国際交流員 (CIR) 1 名の活用 有田町民などを対象に英会話教室を開催 (毎月 2 回)

	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ガイド ・日本語教室 ・外国人対応セミナー ・国際交流員による来訪者案内 ・姉妹都市 45 周年記念両首長オンライン会談 ・「有田小学校」とドイツザクセン州「アリタ小学校マイセン」とオンライン交流 <p>【民間団体の交流事業】</p> <p>○陶都有田国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ツアー ・外国文化ふれあい事業 ・外国料理ふるまい企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・有田観光協会が主催する、町内の観光ガイドを対象とした英語ガイド学習会に CIR を講師として派遣 ・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催(毎週 1～2 回) ・有田を訪れる外国人のお客様への対応スキル向上を図るため、有田観光協会が主催する英語講座に CIR を講師として派遣 (R6.1～3 計 8 回) ・ドイツなど諸外国からの表敬訪問時の通訳及び町内観光案内等 ・姉妹都市 45 周年を記念し、両市町長がオンラインで会談を実施 ・お互いの小学校児童による町・学校の紹介するなどの交流をオンラインで実施 ・国際交流員が外国人を対象に英語による町内ツアーや、町内外在住の外国人による、自国の料理を作りふるまうイベントを実施
大 町 町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 1 名の活用
江 北 町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・海外自治体交流事業 ・学校交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) 1 名の活用 ・オーストラリア及びニュージーランドの首長や議員、自治体連合等の代表者を江北町に受入れ、町行政等の現状及び課題について意見交換及び情報交換 ・多様な文化や価値観を認め合う国際性、創造性豊かな子どもを育てるとともに、実践的な教育の機会を提供し、英語学習の向上にもつなげるため、オーストラリアの学校との交流(派遣・受入)を実施
白 石 町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年語学指導助手設置 <p>【民間団体の交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しろいし WA!WA!WA!日本語交流教室 ・料理を通じた交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) 3 名の活用 ・在住外国人への日本語交流教室及びイベントの開催。町とボランティア協働で実施 ・日本語交流教室の一環で、白石高校生と料理を通じた国際交流を実施
太 良 町	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生タウンミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共催で、地元企業で働くミャンマー人と中学生との交流会を実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘客事業（太良町と台東県相互交流事業） ・観光客誘客事業（太良町とラーチーゴ—日本タイアップによるアンバサダーキャンペーン事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「多良駅」という同名駅を持つ台東県を、町長や町内観光関連事業者らが訪問し、現地の行政担当者と今後の相互交流の実施について会談 ・台湾から太良町の観光大使（太良町観光アンバサダー）を募集・招請し、太良町の魅力を発信してもらうことによりインバウンドの拡大を図る。
--	---	---

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数（令和6年3月31日現在）

・都道府県	43都道府県	174組
・市町村	市・区	1,322組
	町・村	322組
	合計	1,818組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧

（令和6年3月31日現在）（単位：件）

地域名	国・地域名	都道府県	市区	町村	合計
北米	アメリカ	27	360	77	464
	カナダ	2	42	28	72
中南米	コスタリカ		2		2
	ジャマイカ	1			1
	チリ		1		1
	パナマ		1		1
	パラグアイ		2		2
	ブラジル	11	36	11	58
	ペルー		1	3	4
	ボリビア	1			1
	メキシコ	3	5	3	11
	欧州	アイルランド		1	
アゼルバイジャン			1		1
イギリス		4	8	4	16
イタリア		5	27	7	39
ウクライナ			2		2
エストニア			1		1
オーストリア			27	4	31
オランダ			9	2	11
ギリシア			5	3	8
クロアチア			3		3
スイス		1	9	3	13
スウェーデン			3	1	4
スペイン		3	9		12
スロバキア				1	1
スロベニア			1		1
セルビア			1		1
チェコ			2	2	4
デンマーク			4	2	6
ドイツ		6	42	9	57
ノルウェー			3	1	4
ハンガリー			4	1	5
フィンランド			2	3	5
フランス		7	39	9	55
ブルガリア			2		2
ベラルーシ			1		1
ベルギー			8		8
ボスニア・ヘルツェゴビナ				1	1
ポルトガル			7		7
ポーランド				2	2
モルドバ			1		1
ラトビア		1	1	2	
リトアニア		1		1	
ルーマニア		2	1	3	
ロシア	11	33	4	48	

地域名	国・地域名	都道府県	市区	町村	合計
大洋州	オーストラリア	6	79	24	109
	ニュージーランド		30	14	44
	パプアニューギニア		1		1
	バラオ	2			2
	マーシャル諸島			1	1
アジア	インド	3	3		6
	インドネシア	4	2	1	7
	カンボジア		1	1	2
	スリランカ		3		3
	タイ	2	4		6
	ネパール		3	1	4
	バングラデシュ		1		1
	フィリピン	1	14	6	21
	ブータン		1		1
	ベトナム	3	4	1	8
	マレーシア		3	1	4
	ミャンマー		1		1
	モンゴル	2	6	1	9
	韓国	19	122	28	169
中国	47	292	43	382	
台湾		33	15	48	
中東	アラブ首長国連邦	1			1
	イスラエル		1		1
	ウズベキスタン	1	1		2
	トルコ		5	2	7
アフリカ	ウガンダ		1		1
	エジプト	1			1
	カメルーン		1		1
	チュニジア		1		1
合計		174	1,322	322	1,818

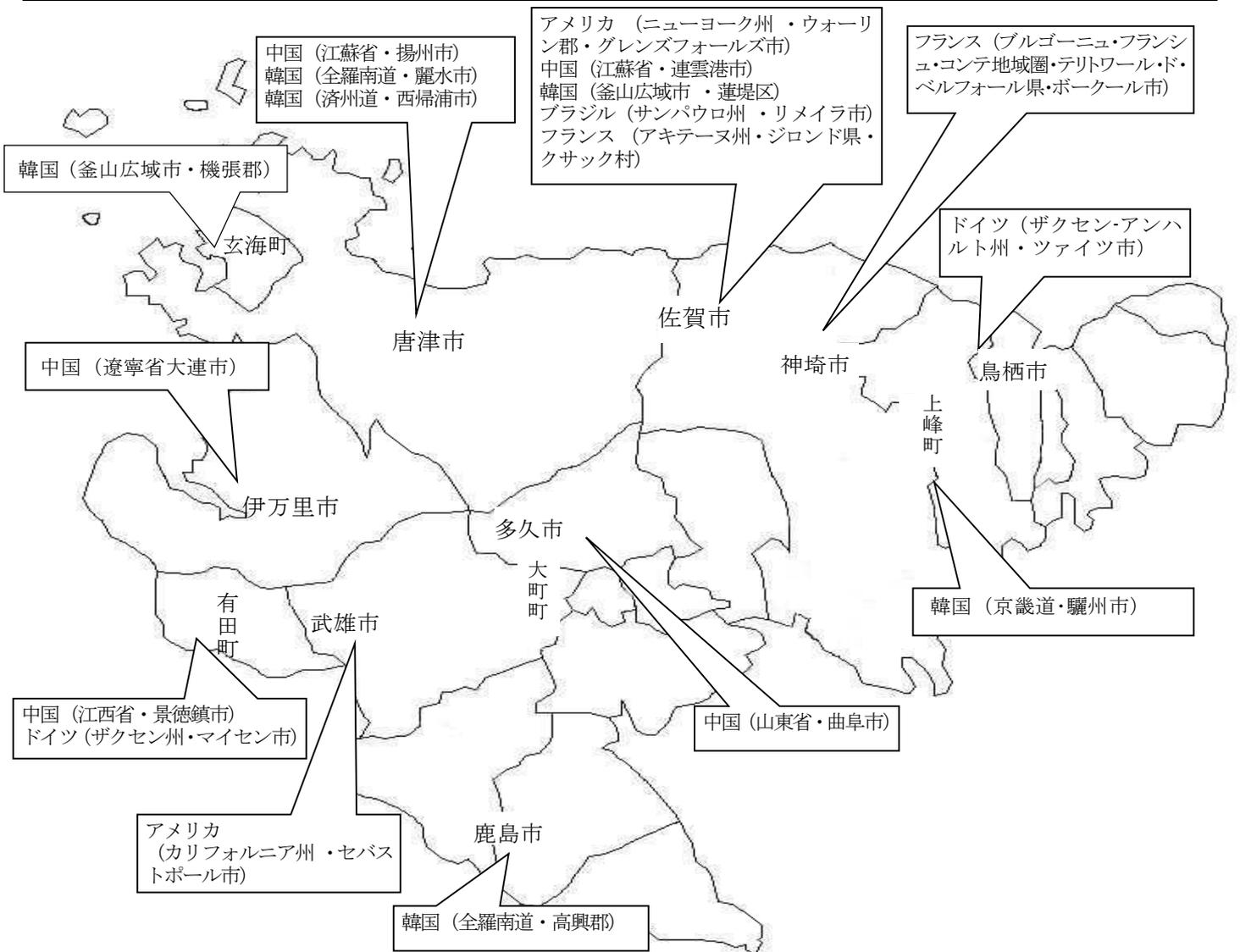
□相手国・地域数 73か国・地域（うち都道府県提携分 26か国）

調：一般財団法人自治体国際化協会

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	県・市町	市町											計
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田	
アメリカ		1					1						2
中国		1	1		1	1						1	5
韓国	1	1	2					1		1	1		7
フランス		1							1				2
ドイツ				1								1	2
ブラジル		1											1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	19



(イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀県	韓国 全羅南道 平成 23 年 1 月 25 日	平成 4 年から日韓海峡沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成 8 年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から 17 名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を 19 名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。
佐賀県 (参考)	* 中国 遼寧省 平成 23 年 10 月 25 日	平成 7 年から交流を開始。平成 11 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 7 名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から 14 名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。
	* 中国 貴州省 平成 24 年 2 月 13 日	平成 11 年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成 24 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 3 名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から 4 名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する合意書を交わした。

* 中国（遼寧省）については友好姉妹都市連携ではなく「友好協力パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国（貴州省）については、「友好交流に関する合意書」を交わしている。

(ウ) 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 昭和63年9月23日	昭和61年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史・文化面でも共通点が多いことから姉妹提携に至った。
	韓国 釜山広域市・蓮堤区 平成10年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流が続いている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して姉妹都市の締結をした。
	中国 江蘇省・連雲港市 平成10年11月27日	徐福がきっかけで、平成10年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 昭和56年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、旧諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから姉妹都市提携した。
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県クサク村 昭和63年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹都市提携に至った。
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 昭和57年2月22日	昭和47年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、昭和53年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。
	韓国 全羅南道・麗水市 昭和57年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに、各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至った。
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 平成6年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたことがきっかけとなり、ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似ていたことから姉妹都市締結に至った。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
唐津市	＊中国 大連市旅順口区 平成16年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのために訪れたことがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至った。
	＊アメリカ合衆国 グアム準州 平成25年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流向書の締結に至った。
鳥栖市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市 平成24年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フッペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(H24.5.17～22)
多久市	中国 山東省・曲阜市 平成5年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が宝永5年に孔子廟（現在呼称多久聖廟）を完成させた。その後、孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、昭和59年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 平成19年5月26日	昭和62年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり、友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ、友好交流都市の締結をした。
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 昭和60年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏（女性）との交流の中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 平成9年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、昭和63年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。
神埼市	フランス ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域圏・ テリトワール・ド・ベルフォール県ボークール市 平成8年10月27日	昭和11年にフランスの飛行家アンドレ・ジャピー氏が脊振山中に墜落し村民が救出したことから交流が始まり、平成7年6月にはボークール市を友好訪問、そして平成8年10月27日に友好姉妹都市の提携を結んだ。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 平成16年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 平成25年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、平成13年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、平成16年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め平成16年11月に友好都市締結。また、驪州郡が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結した。
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 平成21年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していくために友好交流協定を締結した。
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 昭和54年2月9日 (再調印) 平成3年9月21日 平成18年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結した。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、平成3年に姉妹締結、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した平成18年に再調印した。
	中国 江西省・景德鎮市 平成8年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易往来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結した。

* 中国（大連市旅順口区）及びアメリカ合衆国（グアム準州）については、「友好交流意向書」の締結をしている。

（注）提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

(エ) その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 平成 15 年 10 月 30 日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第 8 回（平成 4 年）「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ 1,000 名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。
有田町	韓国 （社）韓国陶磁文化協会 平成 8 年 8 月 28 日 （再調印） 平成 19 年 5 月 3 日	（社）韓国陶磁文化協会と有田町については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後も陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互に協力するため、友好団体の盟約を締結した。

ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流（令和5年度）

(ア) 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	大韓民国	全南大学校	H3. 3. 8
	タイ王国	カセサート大学	H8. 12. 6
	大韓民国	安東大学校	H9. 12. 11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10. 5. 15
	タイ王国	コンケン大学	H10. 9. 28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10. 12. 8
	大韓民国	国民大学校	H11. 3. 29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11. 4. 12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11. 11. 30
	大韓民国	釜山大学校	H12. 2. 2
	中華人民共和国	中国農業大学	H12. 10. 17
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家農業大学	H12. 12. 7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13. 3. 9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13. 4. 27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13. 8. 9
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13. 11. 1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13. 11. 6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13. 11. 12
	大韓民国	釜慶大学校	H14. 4. 18
	大韓民国	済州大学校	H14. 8. 9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14. 9. 13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14. 10. 8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15. 4. 1
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15. 7. 1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15. 7. 2
	オーストラリア連邦	ラトロープ大学	H15. 7. 31
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16. 9. 6
	台湾	国立政治大学	H16. 9. 13
	台湾	国立中興大学	H16. 9. 14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17. 3. 31
	タイ王国	チェンマイ大学	H17. 9. 9
	台湾	国立台北大学	H17. 10. 6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18. 3. 3
	台湾	国立東華大学	H18. 6. 30
	大韓民国	培材大学校	H18. 7. 11
	大韓民国	牧園大学校	H19. 5. 16
	インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19. 6. 11
	大韓民国	大邱大学校	H19. 6. 26
	台湾	元培医事科技大学	H19. 7. 6
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	H19. 8. 6
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19. 8. 24
中華人民共和国	西南政法大学	H19. 10. 31	
中華人民共和国	浙江科技学院	H19. 12. 25	
タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20. 1. 3	
アメリカ合衆国	パンフィック大学	H20. 2. 29	
中華人民共和国	遼寧大学	H20. 4. 30	
インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21. 9. 4	
台湾	文藻外語大学	H21. 9. 4	
ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	H22. 1. 26	

佐賀大学 (大学間)	カナダ	ウイルフリッド・ロリエ大学	H22. 7. 13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22. 7. 26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22. 9. 30
	インドネシア共和国	セバラスマレット大学	H23. 3. 28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23. 7. 15
	インドネシア共和国	マラン国立大学	H23. 12. 7
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23. 12. 27
	アメリカ合衆国	スリップアリーロック大学	H24. 4. 4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24. 8. 28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24. 11. 30
	タイ王国	タマサート大学	H25. 2. 13
	バングラデシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25. 2. 20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25. 3. 11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25. 8. 26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25. 11. 8
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26. 4. 14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28. 8. 21
	オランダ王国	デザインアカデミーアイントハーフェン	H28. 10. 19
	ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学 (ハレ)	H29. 3. 30
	中華人民共和国	温州大学	H30. 5. 28
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	R元. 5. 21
	台湾	国立勤益科技大学	R元. 6. 28
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	R元. 9. 24
	スペイン王国	アルメリア大学	R4. 8. 26
	中華人民共和国	貴州民族大学	R4. 12. 19
	バハマ国	バハマ大学	R5. 9. 26

佐賀大学 (学部間)	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6. 6. 30
	*医学部		
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	H14. 2. 14
	台湾	輔仁カトリック大学 医学部	H25. 3. 15
	*理工学部		
	チェコ共和国	ブラハ化学技術大学	H10. 7. 20
	バングラデシュ人民共和国	クルナ工業技術大学	H12. 3. 1
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14. 11. 27
	ネパール	トリブバン大学 理工学部	H15. 3. 2
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15. 3. 28
	大韓民国	延世大学校	H17. 4. 11
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25. 2. 19
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27. 3. 27
	中華人民共和国	同済大学 土木工程学院	H27. 5. 7
	ミャンマー連邦共和国	ヤンゴン工科大学	H27. 6. 22
	大韓民国	韓国交通大学	H27. 9. 15
	マレーシア	トゥン・フセイン・オン大学	H27. 12. 9
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	H28. 1. 20
	フランス共和国	リール大学	H28. 12. 8
	中華人民共和国	蘇州大学 材料与化学化工学部	H30. 1. 30
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	H30. 3. 7
	カザフスタン共和国	カザフ建築土木高等アカデミー	H30. 7. 20
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学	H31. 2. 21
	タイ王国	チュラロンコン大学 工学部	R元. 12. 23
	インドネシア共和国	カリマンタン工科大学	R2. 1. 8
	インドネシア共和国	ブンハッタ大学	R2. 3. 18
	インドネシア共和国	ムハマディア大学	R4. 1. 26
	インドネシア共和国	タドゥラコ大学 工学部	R5. 9. 11
	チュニジア共和国	カルタゴ大学 国立建築都市計画学校	R6. 2. 5
	*農学部		
	マレーシア	マレーシアプトラ大学 農学部	H元. 3. 16
	インドネシア共和国	ジェンデラル・スディルマン大学	H30. 10. 23
	*海洋エネルギー研究所		
	大韓民国	釜慶大学 先進的親和環境エネルギーセンター	H16. 9
	大韓民国	海洋大学 海洋エネルギー人的資源開発センター	H21. 9
	中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院	H27. 1. 21
	アメリカ合衆国	ハワイ州立自然エネルギー研究所 (NELHA) マカイ・海洋エンジニアリング (MAKAI)	H27. 8
	ブラジル連邦共和国	リオデジャネイロ連邦大学 アルベルト・ルイス・コインブラ研究所	R5. 10
	*シンクロトロン光応用研究センター		
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14. 4. 1
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18. 3. 6
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18. 4. 1
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22. 9. 9
	中華人民共和国	上海応用物理研究所上海シンクロトロン光施設	H23. 4. 6
	*肥前セラミック研究センター		
	大韓民国	韓国窯業技術院Icheon分院	R元. 1. 3

西九州大学 西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22. 8. 25
	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アディロンダック校	H22. 11. 23
	大韓民国	モコン大学	H22. 12. 14
	大韓民国	大田科学技術大学	H23. 10. 7
	タイ王国	ブラパー大学	H24. 8. 27
	台湾	国立宜蘭大学	H24. 11. 7
	台湾	元培医事科技大学	H24. 11. 8
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25. 8. 5
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25. 9. 24
	台湾	義守大学	H25. 10. 11
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27. 3. 23
	中華人民共和国	厦門（アモイ）理工学院	H27. 6. 23
	中華人民共和国	中国貴州民族大学	R4. 5. 13
	大韓民国	建国大学グローバルキャンパス	H27. 6. 26
	ベトナム	ハノイ大学	H29. 9. 12
九州龍谷短期大学 * 大学間	大韓民国	釜山女子大学	H19. 3. 6
	大韓民国	東義科学大学	H23. 7. 25
	大韓民国	釜山経商大学	H23. 11. 9
	中華人民共和国	大連大学日本語言文化学院	H25. 5. 14
佐賀女子短期大学 * 大学間	大韓民国	慶州大学校	H11. 11. 12
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15. 10. 26
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17. 6. 29
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20. 7. 13
	ニュージーランド	イースタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー	H20. 10. 15
	大韓民国	蔚山科学大学	H22. 1. 15
	大韓民国	釜山外国語大学	H27. 5. 13
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27. 6. 1
	大韓民国	培林大学	H27. 10. 14
	大韓民国	翰林聖心大学	H29. 4. 21
	大韓民国	忠北保健科学大学	H29. 5. 17
	大韓民国	金浦大学	H29. 6. 13
	カナダ	ロッキー大学	H29. 8. 3
	大韓民国	馬山大学校	H31. 4. 24
	大韓民国	東義科学大学	R1. 6. 10
	大韓民国	啓明文化大学	R2. 7. 23
	大韓民国	明知大学	R2. 11. 11
	大韓民国	韓南大学	R2. 12. 18
	大韓民国	漢陽女子大学	R2. 12. 30
	大韓民国	国民大学校	R3. 1. 13
	大韓民国	慶星大学	R3. 3. 24
	大韓民国	崇実大学	R3. 5. 19
	大韓民国	漢陽女子大学	R3. 4. 21
	大韓民国	誠信女子大学	R3. 6. 17
	大韓民国	仁徳大学	R3. 7. 14
	大韓民国	大邱大学	R4. 1. 5
	大韓民国	清州大学	R4. 4. 21
	台湾	大葉大学	R4. 4. 26
	大韓民国	慶南情報大学	R4. 9. 13
	タイ王国	ランシット大学	R4. 12. 13
	大韓民国	祥明大学	R5. 1. 22
	台湾	玄装大学	R5. 1. 25
	大韓民国	東義大学	R5. 3. 12

(イ) 高等学校

学校名	提携日・提携先	提携の経緯
佐賀東高等学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀北高等学校	平成4年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津西高等学校	平成29年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
太良高等学校	平成30年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (中国 台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年度にかけて行き来をした後、平成29年度に国際交流協約書を締結した。
唐津南高等学校	平成28年9月29日 三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
高志館高等学校	平成30年3月 湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成29年度に国際交流協約を締結した。
佐賀農業高等学校	平成26年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度に国際交流協定締結に至った。
佐賀工業高等学校	平成27年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協約を締結した。
有田工業高等学校	平成17年8月2日 韓国陶芸高等学校 (韓国)	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるために平成17年度に姉妹校交流を締結した。

佐賀商業高等学校	平成7年7月4日 ハードリー・ルザン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
	平成28年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度に交流協約書を締結した。
唐津商業高等学校	平成24年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。
白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	平成27年12月23日 順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。
牛津高等学校	平成25年12月 リセ・オテルリ (フランス パリ)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。
	平成27年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協定締結に至った。
鳥栖商業高等学校	令和3年3月31日 桃園市立中壠商業高級中等學校 (台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年から令和元年にかけて相互交流を続ける中で、令和2年度に国際交流協定書を締結した。
神埼清明高等学校	令和元年12月 新北市立鶯歌高級工商職業学校 (中国 台湾)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、令和元年に、国際交流協約書締結に至った。
嬉野高等学校	平成26年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。
唐津青翔高等学校	平成20年1月14日 釜山外国語大学校 (韓国 釜山市)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。

学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	平成10年3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附属 佐賀女子高等学校	平成14年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、平成13年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。平成14年1月に来校。提携校協定を結ぶ。
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	昭和56年4月1日 永登浦(ヨンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結
学校法人江楠学園 北陵高等学校	平成2年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人東明館学園 東明館高等学校	平成27年4月27日 信男教育学園上海文來高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	平成26年1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀大学教育学部 附属中学校	平成28年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。
唐津東中学校	平成29年11月6日 董玉娣中学校 (中国 香港)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。
武雄青陵中学校	平成27年3月4日 麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。
佐賀市立 成章中学校	平成10年11月17日 ウォレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城南中学校	平成10年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 昭栄中学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城西中学校	平成元年5月22日 グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島中学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 第一中学校	平成8年11月16日 麗水中学校 (韓国 全羅南道)	昭和57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結を受け、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。

<p>武雄市立 山内中学校</p>	<p>平成5年3月 ブルックハイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバスト ポール市) 平成23年4月16日 (再調印)</p>	<p>昭和60年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックハイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の平成23年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。</p>
<p>神崎市立 神崎中学校</p>	<p>平成28年11月15日 朗州中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。</p>
<p>神崎市立 千代田中学校</p>	<p>平成28年11月9日 三湖西中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。神崎市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神崎市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神崎市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。</p>
<p>神崎市立 脊振中学校</p>	<p>平成元年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)</p>	<p>締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。</p>
<p>上峰町立 上峰中学校</p>	<p>平成16年8月27日 大神(テイシン)中学高等学校 (韓国)</p>	<p>昭和55年より剣道愛好者による民間交流が始まる。平成13年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返された。平成15年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡訪問事業開始。平成16年姉妹校締結。</p>
<p>玄海町立 玄海みらい学園</p>	<p>平成29年8月10日 コロワルスクール (オーストラリア シドニー)</p>	<p>前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。</p>

(エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市立 勸興小学校	平成元年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 循誘小学校	平成2年11月17日 ウォレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 嘉瀬小学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島小学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 金立小学校	平成元年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 久保泉小学校	平成2年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 芙蓉小学校	平成元年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 名護屋小学校	平成11年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年平成12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。
鹿島市立 北鹿島小学校	平成22年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(コフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。

(オ) その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所・その他

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐 賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3. 24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2. 27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45. 11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51. 11. 28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11. 11. 11
唐津西 "	浦 項 "	"	S49. 6. 13
	麗水左水營 "	"	S52. 3. 16
	唐 津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員 林 "	台 湾	S50. 2. 20
鹿 島 "	北 斗 "	"	S55. 3. 13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48. 10. 17
佐賀葉がくれ "	台北市第一（中央）国際獅子會	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	ソウル平和ライオンズクラブ	韓 国	S58. 8. ~
鳥栖養基 "	新馬山 "	"	S55. 1. 19
嬉 野 "	鎮 海 "	"	S54. 3. 17
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5. 24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5. 10
社会福祉法人めぐみ厚生センター	韓国社会福祉法人「手と手」	韓 国	H3. 7. 8
松浦文化連盟・麗水文化団体	韓国芸術文化総連合会 麗水支部	韓 国	S56. 12. 13

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ポリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数一覧

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ポリビア	フィリピン	カレドニア ニュー	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

調：農業振興課「佐賀県海外移住史」

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により18か所（20か国）に県人会があり、各種活動を行っている。

R5.5月現在

地域	国名	団体名（日本語）	団体名（現地名称）	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	ASSOCIAÇÃO CULTURAL ESPORTIVA E BENEFICENTE SAGAKEN DO BRASIL	1955 (S30)	200名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S51)	70名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S55)	122名
	ボリビア	ボリビア国佐賀県人会	ASOCIACION. DE. PRV, SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S35)	56名
北米	アメリカ	南カリフォルニア佐賀県人会	Saga Prefectural Association of Southern California	1905 (M38)	18名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S54)	9名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H11)	78名 (佐賀出身者 16名)
		北カリフォルニア佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H21)	25名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H2)	39名
	中国	香港佐賀県人会	香港佐賀県人会	1995年頃 (H7頃)	12名
		北京佐賀県人会	北京佐賀県人会	2015 (H27)	10名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H14)	45名
		台湾佐賀県人会	台湾佐賀県人会	2017 (H29)	23名
	シンガポール	佐賀県人会 葉隠会	Hagakure-Kai	1984 (S59)	12名
	マレーシア	マレーシア佐賀県人会	ムツゴロウ会	2013 (H25)	16名
	ベトナム	ホーチミン葉隠会	ホーチミン葉隠会	2015 (H27)	10名
欧州	フランス	パリ佐賀県人会	パリ佐賀県人会	2013 (H25)	23名

3. 国際化推進のための環境づくり

(1) 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。SEAはスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

ア 年度別招致状況

JET 青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
H9年度	2	26		28	1	56		57	3	82		85
H10年度	2	28		30	2	57		59	4	85		89
H11年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
H12年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
H13年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
H14年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H15年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H16年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H17年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
H18年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
H19年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
H20年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
H21年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
H22年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
H23年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
H24年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
H25年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
H26年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H27年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H28年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H29年度	4	16	1	21	2	24		26	6	40	1	47
H30年度	4	16	1	21	2	23		25	6	39	1	46
R元年度	5	16	1	22	2	23		25	7	39	1	47
R2年度	4	13		17	2	17		19	6	30		36
R3年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R4年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R5年度	5	16		21	3	13		16	8	29		37

※「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(H2～H18年度、R1～5年度各年度 ALT 1名を配置)を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（令和5年度）

○ 国際交流員（CIR）

配 置 先		R5 人数
県	佐賀県国際課（現多文化共生さが推進課）	4
	名護屋城博物館	1
市町等	佐賀市国際課	1
	嬉野市観光商工課	1
	有田町商工観光課	1
合 計		8

○ 外国語指導助手（ALT）

配 置 先		R5 人数
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16
市町等	唐津市教育委員会	2
	伊万里市教育委員会	1
	武雄市教育委員会	3
	鹿島市教育委員会	2
	嬉野市教育委員会	1
	玄海町教育委員会	1
	有田町教育委員会	1
	江北町教育委員会	1
	松尾学園	1
	合 計	29

調：県多文化共生さが推進課

(2) 外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数（1か月以上）

	学 校 名	R2	R3	R4	R5		学 校 名	R2	R3	R4	R5
1	鳥 栖			1	1	20	唐 津 南				
2	三 養 基					21	伊 万 里 農 林				
3	神 埼					22	佐 賀 農 業		1	1	
4	佐 賀 東				1	23	鳥 栖 工 業				
5	佐 賀 西				2	24	佐 賀 工 業				1
6	佐 賀 北		1	1	2	25	唐 津 工 業				
7	致 遠 館		1	1	1	26	有 田 工 業				
8	小 城	1				27	塩 田 工 業				
9	唐 津 東					28	鳥 栖 商 業				
10	唐 津 西			1		29	佐 賀 商 業				
11	巖 木					30	唐 津 商 業				
12	唐 津 青 翔					31	伊 万 里 商 業				
13	伊 万 里			1		32	杵 島 商 業				
14	武 雄	1				33	鹿 島 実 業				
15	白 石					34	神 埼 清 明				
16	鹿 島					35	多 久				
17	太 良					36	嬉 野				
18	牛 津		1	1		受 入 校 数		2 校	4 校	7 校	6 校
19	高 志 館					留 学 者 数		2 名	4 名	7 名	7 名

調：県教育委員会事務局教育振興課

イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況（令和5年度）

学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数（定員）	コースの設置年
佐賀商業高等学校	グローバルビジネス科	1	40	平成30年
唐津青翔高等学校	韓国文化系列	-	-	令和4年

調：県教育委員会事務局教育振興課

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（令和5年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門（3年生選択／2単位）	H4
	ハングル入門（3年生選択／2単位）	H17
唐 津 商 業	ハングル入門（3年生選択／3単位）	H4
三 養 基	中国語Ⅰ（3年生選択／2単位）	H8
佐 賀 北	中国語入門（3年生選択／4単位）	H8
	ハングル入門（3年生選択／4単位）	H13
嬉野（嬉野校舎）	中国語入門（1年生選択／2単位）	H13
	中国語基礎（2年生選択／2単位）	H21
唐 津 青 翔	韓国文化（3年生選択／2単位）	H17
	韓国語Ⅰ（1・2年生選択／6単位）	H17
	韓国語Ⅱ（3年生選択／2単位）	H17
佐 賀 農 業	韓国語入門（3年生選択／2単位）	H26
白石（商業科キャンパス）	韓国語入門（3年生商業科マーケティングコース／2単位）	R2

調：県教育委員会事務局学校教育課

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（令和5年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
該当校なし			

調：県教育委員会事務局学校教育課

オ 海外の学校との交流状況

(ア) 高等学校

学校名	相手校	提携日 (提携校の場合)	提携の経緯	令和5年度の交流状況
佐賀東高等学校	クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	・グレンズフォールズに1人派遣。 ・アメリカ、ペンシルバニア州、ウィサキコン高校と交流し、7月に教員2人、生徒12人を1週間受け入れ。本校授業に参加・交流した。
佐賀北高等学校	グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成4年3月	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	佐賀市国際交流協会主催の2023グレンズフォールズ市教育交流訪問団に本校から5名の生徒が参加した。約10日間の訪問の中で、グレンズフォールズ高校で授業を受けたり、ホームステイ先の家族と交流した。
	タピオラ高校 (フィンランド)		R3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	交流実績なし
	新竹高校 (台湾)			1年生の授業の一環で台湾の新竹高校と郵便のやり取りをした。手紙だけでなく、写真や絵などの思い入れのあるものの交換やお互いの国の文化を紹介した。
佐賀西高等学校	ヘアマン・ウェセリンク・カレッジ (オランダ)		R3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	【ZOOMオンライン交流】 参加生徒：12名（2年生） <1回目> 実施日：R5.1.23 内容：自己紹介、学校紹介 <2回目> 実施日：R5.3.12 交流内容：戦争と世界平和についてのディスカッション
唐津西高等学校	貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成29年9月21日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし
	ムンヒャン高校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育委員会からの紹介	【オンライン交流】 実施日：R5.11.9 参加人数：10名 内容：それぞれの高校での生活についてのプレゼンテーション
太良高等学校	台湾国立成功商業水産職業学校 (台湾)	平成30年3月7日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。H29年度にかけて行き来をした後、同年度に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
唐津南高等学校	三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成28年9月29日	H27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし

高志館高等学校	湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成30年3月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H29年度に国際交流協約を締結した。	【オンライン交流】 交流日：R5.11.20 参加人数：高志館高校10名 湖南園芸高等学校10名 交流内容：学校紹介
	シヤパレル高校 (アメリカ アリゾナ州)		教育振興課からの紹介	【メールによる交流】 授業の中で佐賀県や高志館高校を伝える紹介パワポを作り、学校間でのやりとりを行ったあと、アドレスを伝えて個人間でのメール交流を実施。全体で年賀状を送った。 【参加生徒】 アメリカ：日本語の授業を選択している生徒6名 日本：交流を希望した2～3年生6名 交流内容：学校紹介、フリートーク
佐賀農業高等学校	全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年8月	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H26年度に国際交流協定締結に至った。	【オンライン交流】 本校で韓国語を学習している3年生8名が韓国の生徒とオンラインでお互いの学校や伝統文化などを紹介し合った。
三養基高等学校	貴州省貴陽市第十中学校 (中国)		国際課からの紹介	交流実績なし
佐賀工業高等学校	順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成27年10月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H27年度に国際交流協約を締結した。	交流実績なし
有田工業高等学校	韓国陶芸高等学校 (韓国)	平成17年8月2日	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるためにH17年度に姉妹校交流を締結した。	R5.9に本校から陶芸作品14点を送り、R5.11に先方からの陶芸作品14点を展示し作品交流を行った。
佐賀商業高等学校	ハードリー・ルザーン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成7年7月4日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	韓国大一観光高等学校 (韓国)	令和6年6月23日	H30年度に教育振興課からの紹介。	【派遣交流】 交流日：R5.9.20～24 受入人数：本校生徒1名 交流内容：韓国大一観光高校での授業参加及びホームステイ 【受入交流】 交流日：R6.1.11 受入人数：韓国大一観光高校生徒15名、引率教員1名 交流内容：2年5組の生徒たちとの自己紹介など
	筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月1日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に交流協約書を締結した。	交流実績なし
	花蓮市海星高校 (台湾)		八戸溝郵便局からの紹介	【手紙交流】 交流日：R5.7 交流人数：2年5組 40名 交流内容：手紙のやり取り

唐津商業高等学校	麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年7月22日	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成27年12月23日	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
	求禮(クレ)高等学校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育庁の原田実様の斡旋により。	交流実績なし
	霊岩(ヨンアム)女子高校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育庁の針崎万梨恵様の斡旋により。	【オンライン交流】 交流日：R5.12.12 参加人数：14名 交流内容：学校紹介、自己紹介、グループ交流(2～4名)、お別れの挨拶
牛津高等学校	リセ・オテルリ (フランス パリ)	平成25年12月	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。	交流実績なし
	上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成27年12月	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H27年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし
鳥栖商業高等学校	桃園市立中壩商業高級中等學校 (台湾)	令和3年3月31日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。相互交流を続ける中で、R2年度に国際交流協定書を締結した。	【訪問交流】 実施日：R5.10.18～R5.10.20 参加人数：生徒3名、引率者1名 内容：台北市内観光、学校訪問(生徒交流、授業体験、校外体験、ホームステイ)
	デイル観光高等学校 (韓国 ソウル市)		相手校が毎年インターンシップで来日されており、その期間中に交流をしたいという希望があったため。	【受入交流】 <1回目> 実施日：R5.12.4～R5.12.8 受入人数：生徒3名 内容：生徒交流、授業体験、学校行事体験、ホームステイ <2回目> 実施日：R6.1.12 受入人数：生徒14名、引率者1名 内容：生徒交流、授業体験 【オンライン交流】 <1回目> 実施日：R5.11.10 参加人数：生徒35名(相手校11名、本校24名) 内容：情報交換(お互いの地域や文化の違いについて) <2回目> 実施日：R5.12.1 参加人数：生徒38名(相手校14名、本校24名) 内容：情報交換(お互いの地域や文化の違いについて)
神埼清明高等学校	新北市立鶯歌高級工商職業学校 (台湾)	令和元年12月	H27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、R1年度に、国際交流協約書締結に至った。	交流実績なし

嬉野高等学校	第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成26年5月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。	交流実績なし
武雄高等学校	ライナールトカレッジ (オランダ フルスト市)		東京オリパラホストタウン事業	【オンライン交流】 R6.2.1~2 ・互いの国について、Kahoot!を使ってクイズ ・互いの国・地域についてディスカッション ・SNS使用・ジェンダー問題・気候変動の影響と対策についてのディスカッション ・上記についての問題解決を訴えるポスターづくり ※以上全てをzoomを用いたオンライン交流にて行った。
唐津青翔高等学校	釜山外国語大学校 (韓国 釜山市)	平成20年1月14日	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	【オンライン交流】 交流日：R5.11.9 交流人数：12名 交流内容：お互いの自己紹介、情報交換、訪問にあたっての確認 【現地交流】 交流日：R5.11.15~17 交流人数：生徒11名、引率者2名 交流内容：自己紹介、学校紹介、学生との交流、開発商品PR、博物館等見学
小城高等学校	日独スポーツ少年団のドイツ人留学生		小城市スポーツ協会より紹介され、日独スポーツ少年団の交流事業に参加した。	R5.7.29にドイツスポーツ少年団のドイツ人留学生6名が小城高校を訪問。本校からは生徒13名が参加した。スポーツ体験では卓球バレーを行い、続く、討論会では本校生徒は共生社会でのスポーツの役割を英語で発表し、ドイツ人留学生は環境保全のための取組を発表した。双方の発表後に意見を交換し、それぞれのテーマへの理解を深めた。
	韓国全羅南道教育庁国際教育院主催		韓国全羅南道教育庁国際教育院主催の国際交流プロジェクトである「グローバル公民権プロジェクト」に希望して参加した。	月に1回オンラインで日韓プロジェクトメンバーと英語で意見交換を重ねた。10月末にSDGsに関するテーマでプレゼンテーションをし、双方の考えを英語で述べながら交流を深めた。
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	レイクジョージ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校	善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州市)	平成14年1月11日	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、H13.3に職員を派遣し視察。H14.1に善徳女子高校より来校。提携校協定を結ぶ。	交流実績なし R6年度より再開予定であり、本校から提携校の韓国善徳女子高等学校に訪問予定
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	永登浦(ヨンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	昭和56年4月1日	佐賀新聞社の紹介	交流実績なし
学校法人江楠学園 北陵高等学校	サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし

<p>学校法人東明館学園 東明館高等学校</p>	<p>信男教育学園上海文來高等学校 国際部中日班 (中国 上海市)</p>	<p>平成27年4月27日</p>	<p>H26.1.20に佐賀県国際・ 観光部おもてなし課から 依頼があり文化交流会を 実施。文化交流会をきっ かけに本校への編入学に 関する協定を締結。</p>	<p>編入学生徒 5 名が入学 (R5.10～)</p>
------------------------------	---	-------------------	--	------------------------------

(イ) 中学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和5年度の交流状況
佐賀大学教育学部 附属中学校	香港聖公会林護紀念中学校 (中国 香港)	平成28年2月	H26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度、MOUを締結した。	日時：R5.12.6～9（3泊4日） 参加者：本校3年生4名、2年生7名、1年生4名、計15名 交流方法：現地訪問 交流内容： ・佐賀県や日本の文化やスポーツの紹介 ・中学校の紹介 ・名刺交換・意見交流会 ・スポーツ交流 (バスケットボール・ダーツ)
唐津東中学校	董玉娣中学校 (中国 香港)	平成29年11月6日	H27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。	交流実績なし
武雄青陵中学校	麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成27年3月4日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。	交流実績なし
佐賀市立 成章中学校	ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 城南中学校	レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 昭栄中学校	ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 城西中学校	グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成1年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 鍋島中学校	クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	新竹市立光武國中学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より鍋島中の1年生に、「手紙の書き方」指導の一助として手紙での交流を紹介していただき、交流を行った。	【手紙による交流】 新竹市立光武國中学校について、パワポで紹介してもらい、手紙・しおりセットのプレゼントをもらう。その後、英語で手紙を書く。お礼に使用済み切手と便せんプレゼントを贈った。
唐津市立 第一中学校	麗水中学校 (韓国 全羅南道)	平成8年11月16日	S57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。	交流実績なし
唐津市立 鏡中学校	韓国済州島ソギボ女子中学校		西歸浦市との姉妹都市の関係により、唐津市地域交流部・地域づくり課からの依頼があり実施に至った。	交流実績なし

鳥栖市立 田代中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	美術の授業で作った作品にコメントをつけて送った。
鳥栖市立 鳥栖西中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
神埼市立 神埼中学校	朗州中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月15日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。	交流実績なし
神埼市立 千代田中学校	三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月9日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。神埼市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神埼市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。H27. 10. 23に神埼市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。H28. 11. 9に千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	交流実績なし
神埼市立 春振中学校	山西大学附属中学校 (中国 山西省)	平成1年10月1日	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて、姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	交流実績なし
武雄市立 山内中学校	ブルックヘイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市)	平成5年3月 平成23年4月16日 (再調印)	S60. 3にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後のH23. 4. 16に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	【アメリカでの交流】 実施期間：R6. 3. 23～4. 3 参加人数：武雄市全中学校から20名参加している。 交流内容：ホームステイを行ったり、ボランティア活動および介護施設の見学を行ったりして、交流を深めた。その他、ブルックヘイブン中学校にて、現地の中学生とそれぞれの国の文化についての交流を図った。
小城市立 芦刈中学校	中国浙江省海鹽県の学校 (中国 浙江省)		S56年に、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12～13人が日本に派遣され、団長(金子龍)を含む数名が、三日月町及び牛津町の農家に約11か月間のホームステイによる研修で滞在。 H20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の泰山成校に招聘された。そこで、S56年に研修生として派遣された金子龍氏との間で、友好交流の話が持ち上がった。 その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問や海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。	【芸術での交流】 子どもたちや市民の書道・絵画等の作品交流を行い、学校・公共施設で巡回展示し、多文化にふれる機会を作っている。 上記の交流事業の一つとして、小城市内小中学校に作品を展示している。

小城市立 牛津中学校	シラバコン大学 (タイ バンコク)		ツナガル株式会社からの 紹介	R6.3.6にリモートによる交流を2時間 程度行った。 互いの国の文化や特産物、観光地等を 紹介しあい、異文化の交流を深めた。
上峰町立 上峰中学校	大神(テイシン) 中学高等学校 (韓国)	平成16年8月27日	S55年より剣道愛好者によ る民間交流が始まる。H13 年に上峰町長及び議員が ヨジュ郡を表敬訪問。ヨ ジュ郡からの来町も繰り 返された。H15年、日韓友 好上峰町青少年ヨジュ郡 訪問事業開始。H16年に姉 妹校締結。	交流実績なし
玄海町立 玄海みらい学園	コロワルスクール (オーストラリア シドニー)	平成29年8月10日	前教育長が国際交流を推 進しており、数年前から コロワルスクールとは交 流をしていた。その交流 の一環として。	交流実績なし

(ウ) 小学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和5年度の交流状況
佐賀市立 勸興小学校	サンフォード・ストリート小学 校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 諸富南小学校	明湖小学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より諸富町内の6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
佐賀市立 循誘小学校	ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	溪州小学校 (台湾)		郵便局からの依頼	交流実績なし
	安溪國小学校 (台湾)		ロータリークラブからの依頼	【オンライン交流】 3月に6年生2クラスが、オンラインで学校紹介等の交流を行った。
佐賀市立 高木瀬小学校	高尾市立新甲國小学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小学校6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
	ケスキパロカンコウル小学校 (フィンランド)		佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小学校5年生に、「絵手紙の書き方」指導の一助になればと、絵手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
佐賀市立 新栄小学校	トヒョン小学校 (韓国 釜山市)		まちづくり協議会の主催で21年前から交流は始まり韓国から交流団を招いたり、韓国に行ったりして交流をしてきた。	【本校児童18名が訪韓 (R5. 9. 16～18)】 トヒョン小を本校児童18名が訪問し、交流会を行った。11月に宿泊させた児童の家にお世話になり、韓国の家庭の様子を見聞してきた。
佐賀市立 嘉瀬小学校	ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 鍋島小学校	クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 金立小学校	ビッグクロス・ストリート小学 校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 久保泉小学校	レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 芙蓉小学校	ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし

唐津市立 名護屋小学校	萬徳初等学校 (韓国)	平成11年10月20日	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、H12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。	交流実績なし
唐津市立 東唐津小学校	アリゾナ州立大学 (アメリカ)		本校校長からの紹介	【オンラインでの交流 (R5. 5. 13)】 実施学年：6年 内容： ・互いに自己紹介 ・アリゾナの学生からアメリカの様子をスライドを用いながら紹介 ・小学生からアリゾナの学生に対して質問
鹿島市立 北鹿島小学校	大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興郡)	平成22年8月4日	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。	【韓国交流のための事前学習会 (R5. 11. 13)】 講師を迎え、韓国の言葉や習慣、文化の違いを事前に学んだ。 【全体交流 (R5. 11. 21)】 一緒に韓国のクイズや曲を楽しんだり、互いに学習発表を行った。 【各学年での交流 (R5. 11. 21)】 各学年で、バグゴやトランプをしたり、給食を一緒に食べた。 【ホームステイ交流 (R5. 11. 21～23)】 大西初等学校児童11名が、北鹿島小学校ホストファミリー5家族の家に2、3名ずつに分かれて、ホームステイ交流を行った。
小城市立 芦刈小学校	中国浙江省海鹽県の学校 (中国 浙江省)		S56年に、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12～13人が日本に派遣され、団長(金子龍)を含む数名が、三日月町及び牛津町の農家に約11か月間のホームステイによる研修で滞在。 H20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の泰山成校に招聘された。そこで、S56年に研修生として派遣された金子龍氏との間で、友好交流の話が持ち上がった。 その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問や海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。	【芸術での交流】 子どもたちや市民の書道・絵画等の作品交流を行い、学校・公共施設で巡回展示し、多文化にふれる機会を作っている。 上記の交流事業の一つとして、小城市内小中学校に作品を展示している。
有田町立 有田小学校	マイセンアリタ小学校 (ドイツ マイセン市)		R6年度に有田町、ドイツマイセン市姉妹都市提携45周年を記念して、交流をしていきたいという申出があった。 R5. 10. 13にマイセン有田友好協会が来校し、本校校長と有田町商工観光課で話し合いがもたれ、 R6. 11. 21に調印式を行うこととなった。	交流実績なし

(3) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数

(令和6年3月31日時点)

所在地（市町）	日本語教室数	所在地（市町）	日本語教室数
佐賀市	6 教室	嬉野市	1 教室
唐津市	2 教室	神埼市	1 教室
鳥栖市	1 教室	基山町	2 教室
多久市	1 教室	白石町	1 教室
伊万里市	2 教室	有田町	1 教室
武雄市	1 教室	みやき町	1 教室
鹿島市	1 教室	—	—
小城市	1 教室	計	22 教室

調：県多文化共生さが推進課

4. 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モゴ	ン	パラオ	計	主な研修機関
S55 ～ H5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューテック二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和養護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユウ
H6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
H7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
H8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
H9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
H10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
H11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	16	佐賀医大、サングコーポレーション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
H12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
H13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、セモコーポレーション、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジヤバツアーステムサガ、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
H14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューテック二葉

年度	中国	ブ ジ ラ ル	アルゼ ンチン	ペルー	韓国	マレー シ ア	インド ネシア	フィリ ピン	タイ	バングラ デシュ	モ ゴ ル	パラオ	計	主 な 研 修 機 関
H15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
H18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
H19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
H20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
H21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
H24 ～ R5	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12	佐賀大学
計	211	63	13	13	4	29	11	3	1	2	1	2	353	

※ S58年度まで県単独事業として実施

S59年度からH15年度までは国庫補助事業として実施

H16年度から再び県単独事業として実施

H21年度からH23年度まではJICAの補助事業として実施

調：県国際政策グループ

イ 独立行政法人国際協力機構（JICA） 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H元	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	㈱吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	㈱吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	㈱ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パラオ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車㈱
H14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
H19	1	ブータン	〃
H20	1	ブータン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケ ニ ア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
H27	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モロッコ	佐賀大学大学院工学系研究科

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
H28	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科
	1	セネガル	佐賀大学工学研究科
R2	1	ミャンマー	佐賀大学大学院熱帯資源・植物生産科学研究科
R3	1	ブルキナファソ	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
R4	1	南アフリカ共和国	佐賀大学理工学研究科
	1	ベナン	佐賀大学理工学研究科
	1	カメルーン	佐賀大学農学研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
R5	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	2	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科

※H22 ～ H25、R元の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況（派遣時佐賀県在住者）

令和6年3月末現在

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	99	
シンガポール	1	第三国（電力供給・送配電）
インドネシア	21	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護（産科）、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム (GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像、中小企業海外展開支援、母子手帳を活用した母子保健プロジェクト
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究（媒介節足動物研究）
ベトナム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バングラデシュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整（母子保健サービス強化）
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稻育種・栽培、チーフアドバイザー
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フィリピン	1	総合治水
スリランカ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
モンゴル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
ラオス	2	メタファシリテーション、経済・ガバナンス企画調査員
ミャンマー	2	ボランティア支援、業務調整/民間連携
キルギス	2	野菜種子生産振興プロジェクト、一村一品イシクリ式アプローチ
トルコ	1	考古学的研究及び観光開発のための遺物修復保存専門家
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
バブアニューギニア	2	業務調整/教材作成支援
中南米	29	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	8	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー/広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボリビア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国（光ファイバー伝送システム）、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ（小規模米作近代化技術）、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	2	マングローブ生態系の回復と管理、ボランティア支援

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
アフリカ	22	
エジプト	1	染織物
カメルーン	3	品種純化選定技術、種子検査技術、コメ振興プロジェクト
ケニア	3	地下水開発（堀削機運転・堀削機維持）、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	2	灌漑/農民研修、コメ振興能力強化プロジェクト
マリ	2	村落開発アドバイザー（農業一般）
ウガンダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ（運輸・交通、電力）、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マラウイ	2	船舶機関士養成、企画調整員
モロッコ	1	経済協力案件形成促進・監理
ガーナ	1	企画調整員(ボランティア支援)
エチオピア	1	コメ生産向上に向けた技術移転能力強化プロジェクト（エチオライズ2）
ジブチ共和国	1	援助プログラム策定支援
計	153	

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

エ 青年海外協力隊等派遣状況（令和6年3月末現在）

（青年海外協力隊・海外協力隊、日系社会青年海外協力隊・日系社会海外協力隊、シニア海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊、各短期派遣を含む）

（ア）年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女
S44～H19	243	150	93
H20	15	7	8
H21	20	12	8
H22	22	9	13
H23	8	5	3
H24	10	6	4
H25	10	6	4
H26	9	4	5
H27	9	5	4
H28	13	6	7
H29	7	4	3
H30	14	8	6
R元	9	4	5
R2	0	0	0
R3	2	0	2
R4	3	1	2
R5	3	0	3
計	397	227	170

（イ）国別・地域別派遣者数（令和6年3月末現在）

国・地域	累計	派遣中	帰国
アジア	100	0	100
インドネシア	5	0	5
中国	5	0	5
タイ	6	0	6
フィリピン	10	0	10
マレーシア	11	0	11
ベトナム	10	0	10
バングラデシュ	5	0	5
ネパール	8	0	8
スリランカ	10	0	10
ラオス	5	0	5
インド	1	0	1
ブータン	8	0	8
カンボジア	6	0	6
モンゴル	7	0	7
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	0	1
オセアニア	34	1	33
パプアニューギニア	7	0	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	5	0	5
サモア	2	0	2
バヌアツ	5	0	5
ミクロネシア	1	0	1
フィジー	5	1	4
キリバス	1	0	1
パラオ	1	0	1
マーシャル諸島	2	0	2

国・地域	累計	派遣中	帰国
中南米	113	3	110
ウルグアイ	1	0	1
ホンジュラス	12	0	12
ペルー	14	0	14
ボリビア	15	1	14
コロンビア	3	0	3
パラグアイ	14	1	13
グアテマラ	9	0	9
ニカラグア	3	0	3
エルサルバドル	4	0	4
ベリーズ	2	0	2
エクアドル	5	1	4
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	0	8
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	4	0	4
セントルシア	2	0	2
ブラジル	11	0	11
チリ	1	0	1
アフリカ	120	0	120
ケニア	18	0	18
タンザニア	15	0	15
ガーナ	10	0	10
リベリア	2	0	2
ザンビア	15	0	15
セネガル	8	0	8
マラウイ	14	0	14
ニジェール	4	0	4
コートジボアール	3	0	3
ボツワナ	5	0	5
マダガスカル	2	0	2
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	6	0	6
ウガンダ	7	0	7
ベナン	3	0	3
カメルーン	1	0	1
モザンビーク	2	0	2
ブルキナファソ	3	0	3
中東	22	1	21
ヨルダン	5	0	5
シリア	3	0	3
エジプト	2	0	2
モロッコ	8	0	8
チュニジア	4	1	3
ヨーロッパ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	397	5	392

(ウ) 青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	男	チュニジア	卓球	令和4年7月～令和6年7月
2	女	パラグアイ	家畜飼育	令和5年1月～令和6年4月
3	女	フィジー	コミュニティ開発	令和5年7月～令和7年7月
4	女	ボリビア	青少年活動	令和6年1月～令和8年1月
5	女	エクアドル	家政/生活改善	令和5年7月～令和6年5月

(エ) シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	—	—	—	-

(オ) 日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	—	—	—	-

オ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
S60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
S62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
S63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
H元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
H2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
H3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
H4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
H5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
H6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
H8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
H9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	（社）九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
H13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H15	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
H16	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
H17	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
H20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

※H21～R5の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町名	担当課（室）名	電 話 番 号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務部国際課	国際交流係 0952-40-7023 多文化共生係 0952-40-7406	0952-40-2050	kokusai@city.saga.lg.jp
唐津市	地域づくり課	0955-72-9220	0955-72-9182	kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働課	0942-85-3508	0942-83-3310	kvoidou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課 行政係	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	まちづくり課 多文化共生係	0955-22-7046	0955-22-9575	machizukuri@city.imari.lg.jp
武雄市	男女参画・ 市民協働課	0954-23-9141	0954-23-3816	daniyo@city.takeo.lg.jp
鹿島市	広報企画課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	shiminkyoudou@city.ogi.lg.jp
嬉野市	観光商工課	0954-42-3310	0954-42-2960	kankou@city.ureshino.lg.jp
神埼市	企画課	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	財政協働課	0952-37-0331	0952-52-6189	zaiseikyodo@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課 協働推進係	0942-92-7935	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	政策課	0952-52-2182	0952-52-4935	sousei@town.kamimine.lg.jp
みやき町	まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	machizukuri@town.mivaki.lg.jp
玄海町	企画商工課	0955-52-2112	0955-52-3041	kikakusyoukou@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	syoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	machidukuri@town.omachi.lg.jp
江北町	総務政策課 企画情報係	0952-86-5612	0952-86-2130	soumuseisaku@town.kouhoku.lg.jp
白石町	総合戦略課 白石創生推進係	0952-84-7132	0952-84-6611	sougousenryaku@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku@town.tara.lg.jp

2. 県の機関

(本庁・教育庁) 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 電話(代表) : 0952-24-2111
 (佐賀商工ビル) 〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 電話 : 0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際政策グループ (本庁)	国際政策の企画立案及びその推進に関する こと	0952-25-7419	0952-25-7084
多文化共生さが推進課 (本庁)	海外施策及び国際交流に係る施策の推進や国 際協力に関すること	0952-25-7328	0952-25-7084
	多文化共生に係る施策の総合調整及び推進に 関すること		
	旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417
国際交流プラザ (佐賀商工ビ ル1階)	多文化共生の推進に関すること	0952-25-7004	0952-25-7664
空港課 (本庁)	佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関する こと	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課 (本庁)	港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
観光課 (本庁)	観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及び 観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関す ること	観光企画担当 0952-25-7386	0952-25-7304
		国内・インバウンド担当 0952-25-7098	
産業政策課 (本庁)	産業振興に係る施策の総合企画に関すること	0952-25-7357	0952-25-7270
流通・貿易課 (本庁)	県産品の流通や国際経済に係る施策の企画及 び調整並びに推進に関すること。	地場産業担当 0952-25-7095	0952-25-7307
		国際経済担当 0952-25-7146	
教育振興課 グローバル人材 育成担当 (教育庁)	グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援セ ンター さが県産品流通デザ イン公社	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(一社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡出入国在留管理局 佐賀 出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	0952-36-6261
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野二丁目2 番1号	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東二丁目11 番1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央一丁目8番32号 アイスクエアビル1階	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-8501 伊万里市立花町1355番地1	0955-22-7046	0955-23-2121
唐津市国際交流協会	〒847-0013 唐津市南城内1番1号 市民交流プラザ交流活動室	0955-72-9220	0955-72-9182
陶都有田国際交流協会	〒849-4192 西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前町国際交流協会	〒847-1516 唐津市肥前町瓜ヶ坂434番地	0955-54-2481	0955-54-2481